

【大学・地域共創プラットフォーム香川】

令和6年度第1回就職・産業振興部会 議事次第

開催日時：令和6年7月5日（金）10:30 ～ 12:00

開催場所：香川大学幸町北キャンパス

法人本部3階第1会議室（高松市幸町1番1号）

議題事項

1. 令和5年度事業報告（資料1-1、1-2）
2. 令和5年度事業の評価（資料2）
3. 大学・地域共創プラットフォーム香川次期中長期計画
(資料3-1, 3-2)
4. 令和6年度事業の進捗報告（資料4）
5. その他

報告事項

1. 令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ
支援補助金について（資料5）
2. その他（若者の県内定着に関する意見交換）（資料6-1, 6-2）

【大学・地域共創プラットフォーム香川】
令和6年度第1回就職・産業振興部会 出席者予定者名簿

《7月5日（金）10時30分～》

（敬称略）

	構成員	部会委員所属名	部会委員職名	部会委員氏名（ふりがな）	出欠状況	代理出席
幹事	香川大学	－	副学長	山神 真一（やまがみ しんいち）	○	－
副幹事	香川県	地域活力推進課	課長	臼山 勇（うすやま いさむ）	○	
		産業政策課	課長	佐々木 宏樹（ささき ひろき）	○	－
		労働政策課	課長補佐	岡村 武典（おかむら たけのり）	○	－
県内大学等	四国学院大学	－	事務統括部長兼学生コモンズ支援課長	金関 貴之（かねせき たかゆき）	×	－
	徳島文理大学	就職支援部	部長	横山 賢治（よこやま けんじ）	○	－
	高松大学	－	学生支援部次長（キャリア支援担当）	蓮井 明博（はすい あきひろ）	×	－
	香川短期大学	－	副学長	齊藤 栄嗣（さいとう えいじ）	○	－
	高松短期大学	－	副学長	出木浦 孝（できうら たかし）	×	－
経済団体等	香川県商工会議所連合会	高松商工会議所 事業推進部 産業・人材課	課長	大山 祐介（おおやま ゆうすけ）	○	－
	香川県商工会連合会	－	事務局長	松園 和夫（まつぞの かずお）	×	－
	香川県中小企業団体中央会	－	事務局長	朝國 和樹（あさくに かずき）	○	－
	香川経済同友会	－	専務理事・事務局長	國村 一郎（くにむら いちろう）	×	－
	香川県中小企業家同友会	企業づくり推進本部	副代表理事	有吉 徳洋（ありよし とくひろ）	×	－
	香川県農業協同組合中央会	総合対策部	次長	大村 康夫（おおむら やすお）	○	－
	香川県漁業協同組合連合会	総務部	部長	塩田 元広（しおた もとひろ）	○	－
	香川県銀行協会	－	常務理事	松田 秀司（まつだ しゅうじ）	○	－
行政機関	高松市	市民政策局政策課	局次長兼課長	長谷山 隆良（はせやま たかよし）	○	課長補佐 齋藤直樹
		創造都市推進局産業振興課	課長	松本 徳（まつもと あつし）	○	課長補佐 大森敏裕
	土庄町	商工観光課	課長	蓮池 幹生（はすいけ みきお）	×	－
	小豆島町	商工観光課	課長	相原 隆幸（あいはら たかゆき）	○	主任主事 河野修平

陪席者

構成員等	陪席者所属名	陪席者職名	陪席者氏名（ふりがな）
香川県	政策部地域活力推進課	課長補佐	常金 志信（つねかね しのぶ）
		主任	島倉 恒太（しまくら こうた）
		主任	坂本 未侑（さかもと みゆう）
香川大学	キャリア支援センター	副センター長	原 瑞穂（はら みずほ）
		特命教授	尾崎 亨（おざき すずむ）
PF事務局（香川大学）	教育・学生支援部	次長	圖子 賀津美（ずし かづみ）
	地域創生推進部	部長	前川 豊弘（まえかわ とよひろ）
	地域創生推進部地域連携推進課	課長補佐	長岡 元彦（ながおか もとひこ）
	地域・産官学連携戦略室	特命教授	藤澤 一仁（ふじさわ かずひと）
	地域創生推進部地域連携推進課	課員	児玉 隆（こだま たかし）

令和5年度事業実施状況

1. 共創推進強化事業(共通)

取 組	実施概要
① メタバース等を活用した地域 DX の実証	香川大学において、メタバースを活用した県内企業等見学ツアーを開催(8/29 開催、8/30～9/5 メタバース空間自由訪問期間) 【参加者】 当日 50 名(香川大学 41 人、四国学院大学5名、高松大学4名) 自由訪問 27 名(香川大学 27 名)

4. キャリア支援事業 (就職・産業振興部会)

取 組	実施概要
① 「かがわーくフェア」の強化・充実	令和6年3月大学・短期大学・高等専門学校・専修学校などの卒業予定者(既卒者含む)及び一般採用希望者(就職氷河期世代を含む)を対象とした、対面方式による「就職面接会」及びオンライン形式による「個別面接」を開催 【参加者】 令和5年4月開催 対面 延148名/オンライン 延27名 令和6年3月開催 対面 延 142 名
② 業種別オンライン県内企業見学ツアー	香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会を開催 【参加者】(全て web 参加者) 8月 23 日(水) 16名 8月 31 日(木) 25名 9月 6 日(水) 45名 86 名(香川大学 23 名、四国学院大学4名、徳島文理大学9名、高松大学・高松短期大学 6 名、香川短期大学 38 名、香川高専6名)
③ うどん県の自治体で働こう大懇談会	香川県内の自治体等の担当者や OB/OG が一同に集まる大懇談会を開催(9/20) 【参加者】 19 名(香川大学 18 名、四国学院大学 1 名)
④ キャリア支援研修会	株式会社レクザムの人事担当者が、県内大学等学生を対象に企業目線での就職活動のポイントを分かりやすく解説(10/24) 【参加者】 13名(香川大学3名、四国学院大学2名、徳島文理大学4名、高松大学4名)
⑤ 学生の就職先選定等の実態把握と分析	就職先選定時に学生が重視するものと県内企業が採用活動時に重視するものなどのギャップを把握し、今後の取組みにつなげていくために、県内企業(1,000社)を対象とする採用活動に関するアンケート調査を実施(地域活性化部会と連携)し、調査報告書を作成

5. 地域企業魅力発信強化事業（就職・産業振興部会）

取 組	実施概要
① 学生による企業インタビューシ ップの実施	高校生・大学生等が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューし、魅力ある地元企業を知ってもらう「共育型インターンシップ」、「インタビューシップ」を実施 【高校生】 4校(三木高校、高松商業高校、飯山高校、志度高校) 225 名 【大学生】 高松大学 9名
② 高校、大学等のイベント等を活用 した地域の魅力発信	香川大学祭に香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会がブース出展し、県産農畜水産物やその生産に関わる団体の魅力発信 【参加者】 464 名(大学生 270 名、その他 194 名)

大学・地域共創プラットフォーム香川 共通事業 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	メタバース等を活用した地域DXの実証
実施主体	香川大学
事業目的	①メタバース等を活用した地域DXの実証 ②地域の業界や企業等の業務や魅力、課題を知り、学生の県内企業等への理解及び将来のキャリア意識の向上を図る
事業内容	1 開催日 令和5年8月29日 ※8月30日～9月5日は自由見学期間 2 参加者 学 生：50名（香川大学41名、四国学院大学5名、高松大学4名）全学年対象 ※自由見学期間に27名（香川大学27名） 企 業：県内企業等17団体（県内企業15、自治体2） 3 開催内容等 (1) 開催内容：メタバースに県内企業等がブースを設置し、学生は興味を持った県内企業等の担当者から説明を受け、質疑応答 (2) アンケート：学生アンケートの結果、県内企業への理解度が向上するとともに、自身のキャリア観の醸成につながったことが分かった。



大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	「かがわーくフェア」の強化・充実（共催）
実施主体	高松商工会議所、香川県、（香川労働局）
事業目的	大学等新卒者及び既卒者の企業情報収集や転職希望者等の就職促進、県内企業の人材確保を支援することを目的とする。
事業内容	①主催：高松商工会議所 開催日：【対面】令和5年4月22日（土）～23日（日） 【オンライン】令和5年5月8日（月）～15日（月） 開催場所：高松商工会議所2階 大ホール 参加者：対面延べ148人、オンライン延べ27人 参加企業：約120社 開催内容：「企業説明会」及び「就職面接会」を対面・オンラインで実施 ②主催：香川労働局 開催日：令和6年3月11日（月） 開催場所：サンメッセ香川 参加者：対面延べ142人 参加企業：135社 開催内容：「企業説明会」及び「就職面接会」を対面で実施



大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信												
実施主体	香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会												
事業目的	高校、大学等のイベントに農業や漁業の県産品等を出展し、それらの生産販売に係る企業・団体の情報及び魅力発信を行う												
事業内容	1 開催日 令和5年10月28日 2 開催場所 香川大学（香川大学祭） 3 来場者数 464名（大学生270名、その他194名） 4 開催内容等 香川大学祭に県産農畜水産物に関するブースを設置し、その生産に関わる団体の魅力発信を行った。 5 来場者アンケート <table border="1"> <caption>来場者アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>回答内容</th> <th>回答数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>香川県の農畜水産物を積極的に購入していきたい</td> <td>280</td> </tr> <tr> <td>副業やアルバイトとして農業・漁業に従事したい</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>将来的に本格的に農業・漁業に従事したい</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>農業・漁業を支えていく仕事に就きたい</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>協力したいが何をしてもよく分からない</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>	回答内容	回答数	香川県の農畜水産物を積極的に購入していきたい	280	副業やアルバイトとして農業・漁業に従事したい	60	将来的に本格的に農業・漁業に従事したい	45	農業・漁業を支えていく仕事に就きたい	40	協力したいが何をしてもよく分からない	180
回答内容	回答数												
香川県の農畜水産物を積極的に購入していきたい	280												
副業やアルバイトとして農業・漁業に従事したい	60												
将来的に本格的に農業・漁業に従事したい	45												
農業・漁業を支えていく仕事に就きたい	40												
協力したいが何をしてもよく分からない	180												

大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	学生による企業インタビューシップの実施
実施主体	①高松大学 蓮井教授、香川県中小企業家同友会 ②香川県教育委員会、香川県中小企業家同友会
事業目的	県内高校生及び大学生の企業インタビューシップによる、県内高校や大学におけるキャリア教育の拡大や実証
事業内容	① インタビューシップ 大学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」を実施。地元で働く意味を考え、自身のキャリア観を見直すきっかけとなった ・開催日：令和5年12月20日 ・参加者：高松大学生（「キャリア開発演習Ⅱ」受講生9名） ・参加企業：県内企業7社 ② 共育型インターンシップ 「地域で若者を育て地域に若者が戻る（残る）、地域に若者が希望をもって帰ってくる活動」として高校生を対象にした「共育型インターンシップ」を実施 ・開催時期：夏季休暇期間中（※志度高校は10月実施） ・参加者：県内4校 延べ225名 （三木高校、高松商業高校、飯山高校、志度高校） ・参加企業：県内企業170社

大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	学生の就職選定等の実態把握と分析																																																																																			
実施主体	香川県（商工労働部労働政策課、政策部地域活力推進課）、香川大学（キャリア支援センター）																																																																																			
事業目的	学生や県内企業を対象とするアンケート調査の実施により、今後のPF香川及び関係機関の若者の県内定着に繋がる検討に繋げる																																																																																			
事業内容	1 実施内容 「採用活動の状況に関するアンケート調査」 - 対象企業：香川県に本社を置く企業1,000社 - 有効回答数：348社 - 設問内容：県内企業が求める人材、 （新卒、中途採用、外国人材等） 採用活動におけるPRポイント、 採用活動スケジュール など	2 アンケート内容（抜粋） <新規学卒者の採用活動開始時期> n=191 <table><tr><th>採用活動開始時期</th><th>割合</th></tr><tr><td>令和3年3月以前</td><td>5.8%</td></tr><tr><td>令和3年4～6月</td><td>11.0%</td></tr><tr><td>令和3年7～9月</td><td>5.2%</td></tr><tr><td>令和3年10～12月</td><td>4.7%</td></tr><tr><td>令和4年1～3月</td><td>30.4%</td></tr><tr><td>令和4年4～6月</td><td>24.1%</td></tr><tr><td>令和4年7～9月</td><td>9.4%</td></tr><tr><td>令和4年10月以降</td><td>6.8%</td></tr><tr><td>その他</td><td>2.1%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>0.5%</td></tr></table> <新規学卒者の採用活動終了時期> n=191 <table><tr><th>採用活動終了時期</th><th>割合</th></tr><tr><td>令和4年3月以前</td><td>0.5%</td></tr><tr><td>令和4年4月</td><td>1.6%</td></tr><tr><td>令和4年5月</td><td>3.1%</td></tr><tr><td>令和4年6月</td><td>6.8%</td></tr><tr><td>令和4年7月</td><td>3.7%</td></tr><tr><td>令和4年8月</td><td>6.3%</td></tr><tr><td>令和4年9月</td><td>11.5%</td></tr><tr><td>令和4年10月</td><td>9.4%</td></tr><tr><td>令和4年11月</td><td>5.2%</td></tr><tr><td>令和4年12月</td><td>10.5%</td></tr><tr><td>令和5年1月以降</td><td>35.6%</td></tr><tr><td>その他</td><td>4.2%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>1.6%</td></tr></table> <採用活動における情報発信方法> n=295 <table><tr><th>採用活動における情報発信方法</th><th>割合</th></tr><tr><td>大手転職サイト</td><td>61.0%</td></tr><tr><td>合同企業説明会(対面)</td><td>39.7%</td></tr><tr><td>合同企業説明会(オンライン)</td><td>16.6%</td></tr><tr><td>インターンシップ</td><td>21.4%</td></tr><tr><td>香川県の就職サイト(ワカサかめわ)</td><td>33.9%</td></tr><tr><td>製造・サービス(設備等)</td><td>11.2%</td></tr><tr><td>step<@Home>・step<@work></td><td>10.2%</td></tr><tr><td>op-od説明会</td><td>3.7%</td></tr><tr><td>市内キャリアセンター</td><td>20.3%</td></tr><tr><td>市内のセミナー</td><td>9.5%</td></tr><tr><td>市内の就職サロンの</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>キャリア支援団体(学生運動の推進サロンの)</td><td>3.1%</td></tr><tr><td>ハローワーク</td><td>63.7%</td></tr><tr><td>その他</td><td>14.2%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>1.0%</td></tr></table>	採用活動開始時期	割合	令和3年3月以前	5.8%	令和3年4～6月	11.0%	令和3年7～9月	5.2%	令和3年10～12月	4.7%	令和4年1～3月	30.4%	令和4年4～6月	24.1%	令和4年7～9月	9.4%	令和4年10月以降	6.8%	その他	2.1%	無回答	0.5%	採用活動終了時期	割合	令和4年3月以前	0.5%	令和4年4月	1.6%	令和4年5月	3.1%	令和4年6月	6.8%	令和4年7月	3.7%	令和4年8月	6.3%	令和4年9月	11.5%	令和4年10月	9.4%	令和4年11月	5.2%	令和4年12月	10.5%	令和5年1月以降	35.6%	その他	4.2%	無回答	1.6%	採用活動における情報発信方法	割合	大手転職サイト	61.0%	合同企業説明会(対面)	39.7%	合同企業説明会(オンライン)	16.6%	インターンシップ	21.4%	香川県の就職サイト(ワカサかめわ)	33.9%	製造・サービス(設備等)	11.2%	step<@Home>・step<@work>	10.2%	op-od説明会	3.7%	市内キャリアセンター	20.3%	市内のセミナー	9.5%	市内の就職サロンの	0.0%	キャリア支援団体(学生運動の推進サロンの)	3.1%	ハローワーク	63.7%	その他	14.2%	無回答	1.0%
	採用活動開始時期	割合																																																																																		
令和3年3月以前	5.8%																																																																																			
令和3年4～6月	11.0%																																																																																			
令和3年7～9月	5.2%																																																																																			
令和3年10～12月	4.7%																																																																																			
令和4年1～3月	30.4%																																																																																			
令和4年4～6月	24.1%																																																																																			
令和4年7～9月	9.4%																																																																																			
令和4年10月以降	6.8%																																																																																			
その他	2.1%																																																																																			
無回答	0.5%																																																																																			
採用活動終了時期	割合																																																																																			
令和4年3月以前	0.5%																																																																																			
令和4年4月	1.6%																																																																																			
令和4年5月	3.1%																																																																																			
令和4年6月	6.8%																																																																																			
令和4年7月	3.7%																																																																																			
令和4年8月	6.3%																																																																																			
令和4年9月	11.5%																																																																																			
令和4年10月	9.4%																																																																																			
令和4年11月	5.2%																																																																																			
令和4年12月	10.5%																																																																																			
令和5年1月以降	35.6%																																																																																			
その他	4.2%																																																																																			
無回答	1.6%																																																																																			
採用活動における情報発信方法	割合																																																																																			
大手転職サイト	61.0%																																																																																			
合同企業説明会(対面)	39.7%																																																																																			
合同企業説明会(オンライン)	16.6%																																																																																			
インターンシップ	21.4%																																																																																			
香川県の就職サイト(ワカサかめわ)	33.9%																																																																																			
製造・サービス(設備等)	11.2%																																																																																			
step<@Home>・step<@work>	10.2%																																																																																			
op-od説明会	3.7%																																																																																			
市内キャリアセンター	20.3%																																																																																			
市内のセミナー	9.5%																																																																																			
市内の就職サロンの	0.0%																																																																																			
キャリア支援団体(学生運動の推進サロンの)	3.1%																																																																																			
ハローワーク	63.7%																																																																																			
その他	14.2%																																																																																			
無回答	1.0%																																																																																			

大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	キャリア支援研修会	
実施主体	香川短期大学	
事業目的	県内大学等の学生の早期の就活マインドの醸成を図る、香川県で働くことの魅力を伝える	
事業内容	1 開催日 令和5年10月24日 2 開催場所 高松大学・高松短期大学大ホール 3 参加学生 13名（香川大学3名、四国学院大学2名、徳島文理大学4名、高松大学4名） 4 参加企業 株式会社レクザム 5 開催内容 (株)レクザムの人事担当者が、(株)レクザム社員の声なども紹介しつつ、県内大学等の学生に、企業目線での就職活動のポイントを解説。	



大学・地域共創プラットフォーム香川 就職・産業振興部会 令和5年度事業報告（詳細）

事業名	業種別オンライン県内企業見学ツアー/うどん県の自治体で働こう大懇談会
実施主体	香川大学（キャリア支援センター）
事業目的	①県内大学等の学生の県内企業に対する理解を増進させ、県内企業への就職及び県内定着を図る ②県内自治体への就職及び若者定着を目標に、県内大学等の学生を対象とした地元自治体の就職を考える大懇談会を開催する
事業内容	① 業種別オンライン県内企業見学ツアー - 開催日：令和5年8月23日、31日、9月6日 - 参加学生：86名（香川大学23名、四国学院大学4名、徳島文理大学9名、高松大学・高松短期大学6名、香川短期大学38名、香川高専6名） - 参加企業：県内企業18社 - 開催内容：香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会を開催 ② うどん県の自治体で働こう大懇談会 - 開催日：令和5年9月20日 - 参加学生：19名（香川大学18名、四国学院大学1名） - 参加自治体：県内自治体13団体 - 開催内容：県内の自治体等の担当者やOB/OGが一同に集まる大懇談会を開催



就職・産業振興部会 令和5年度事業の評価（案）

事業の方針	地域内就職の推進に向けたキャリア支援	実施組織	就職・産業振興部会		
事業名	取組内容	2023 年度			
		活動指標	実績	評価	
かがわーくフェア	大学等の新卒者等に対する就職支援を目的とした就職面接会及び個別面談会の開催	3 回	4 月開催：(対面) 延 148 人 (オンライン) 延 27 人 3 月開催：(対面) 延 142 人	B	卒業予定者等を対象とした、対面方式による「就職面接会」及びオンライン形式による「個別面談」を開催。 学生等の就職支援を目的とした内容ではあるが、「かがわーくフェア」とは異なる「かがわ JOB フェスタ」を実施したことから、実施回数が 2 回となった。
業種別オンライン 県内企業見学ツアー	業種別の複数社によるオンラインでの企業説明会の開催	3 回	8 月 23 日(水) 16 人 8 月 31 日(木) 25 人 9 月 6 日(水) 45 人	A	参加者数が昨年の 187 人から 86 人へと減少した。 学生アンケートによる評価は「満足」「やや満足」の合計が約 9 割を超えた。 【課題】 学生参加者の確保、参加各企業の持ち時間の長さ と使い方、コース内容の検討等が挙げられる。
うどん県の自治体で 働こう大懇談会	県内自治体等の担当者や OB・OG と県内大学生が一堂に集まる大懇談会の開催	1 回	9 月 20 日(水) 延 19 人	A	学生アンケートによる評価は「満足」、「やや満足」の合計が 100%となった。 【課題】 学生参加者の確保が挙げられる。
キャリア支援研修会	就職活動の始め方や企業研究の方法を説明する研修会の開催	1 回	10 月 24 日(火) 13 人	B	企業担当者を招聘し、就職活動のポイントを解説。 【課題】 学生参加者の確保が挙げられる。 各大学においても同様の研修が実施されているところであり、内容の抜本的な見直しを検討する必要がある。

【評価】

S: 当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。

C: 当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。

A: 当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。

D: 当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

B: 当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。

大学・地域共創プラットフォーム香川

中長期計画（2024年度～2028年度）
～高等教育機関を基点とした地域の活性化～

（案）

2024年 月 日 策定

大学・地域共創プラットフォーム香川 中長期計画 目次

1	大学・地域共創プラットフォーム香川の概要	・ ・ 1
2	中長期計画について	
	(1) 計画の目的	・ ・ 3
	(2) 活性化対象地域	・ ・ 3
	(3) 計画の期間	・ ・ 3
	(4) 現状と課題	・ ・ 3
	(5) ビジョン・基本目標及び数値目標	・ ・ 9
	(6) 評価体制・評価時期・評価の反映方法	・ ・ 9
	(7) ロードマップ	・ ・ 10

※2024年度ロードマップは別紙参照

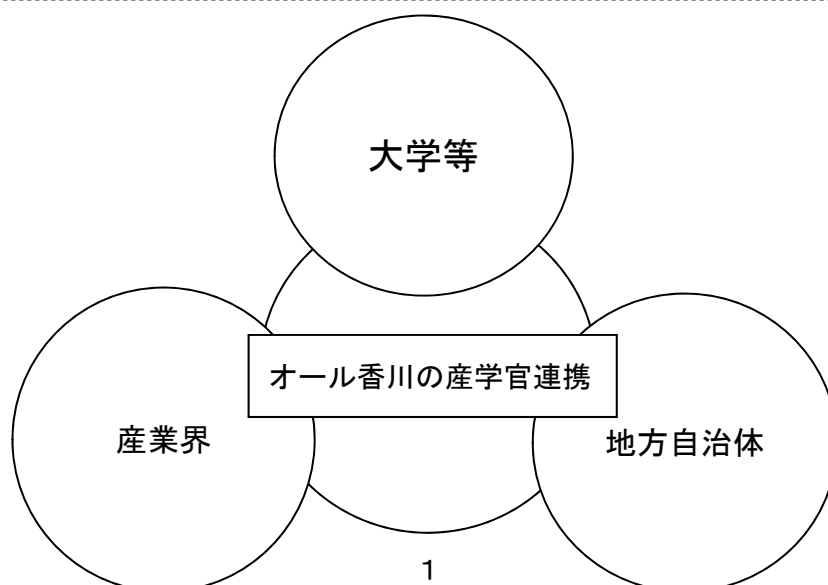
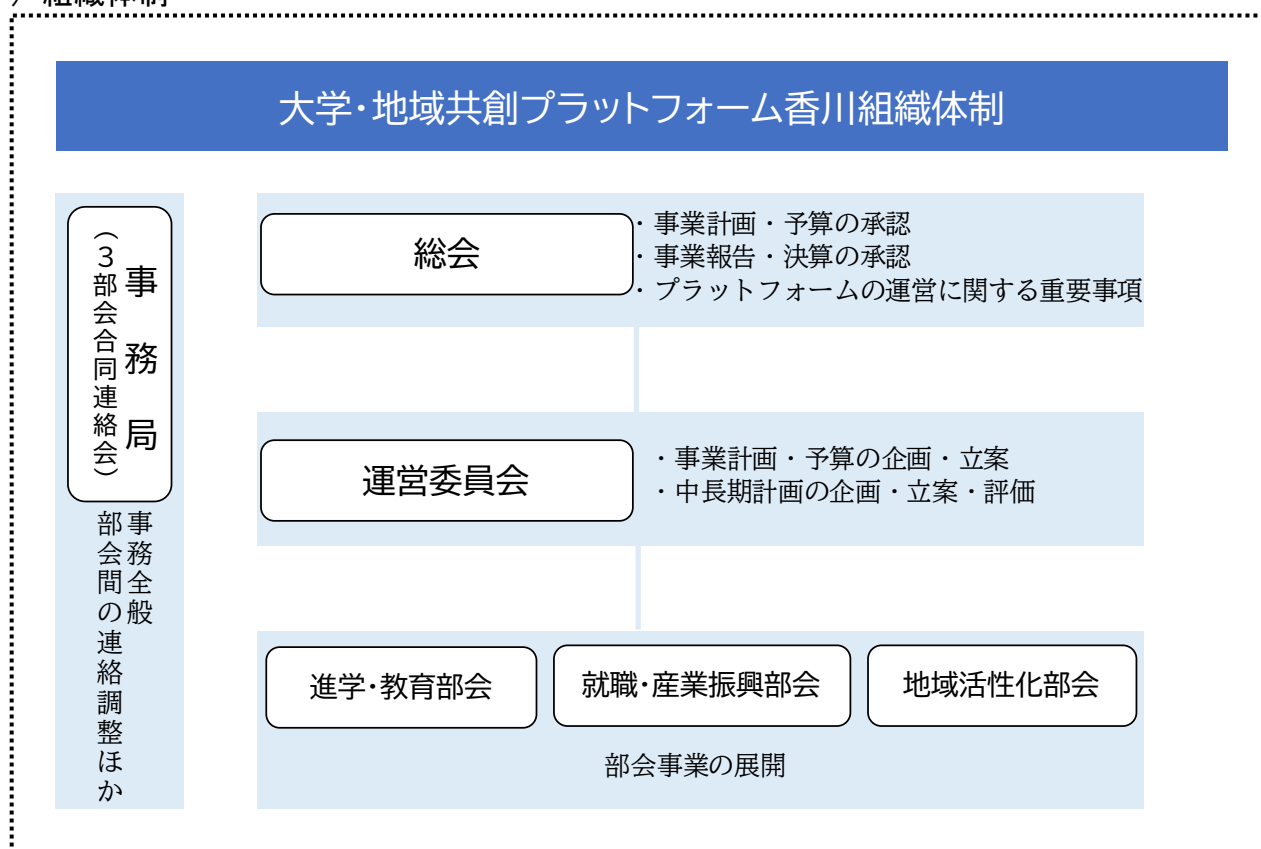
【参考】

「県内大学等の学術分野マップ」	・ ・ 14
「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）」（抜粋）	・ ・ 15

1 大学・地域共創プラットフォーム香川の概要

- 「大学・地域共創プラットフォーム香川」（以下、「本プラットフォーム」という。）は、前身組織である「大学コンソーシアム香川（2015年9月～2022年3月）」及び「COC+-NEXTかがわ（2021年4月～2022年3月）」での県内進学及び地域定着に係る事業の実績を踏まえ、これを承継・強化するとともに、産業界、地方自治体を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的として、令和4年（2022年）3月に設立された。
- 組織運営体制として、総会の下に運営委員会を置き、進学・教育部会、就職・産業振興部会、地域活性化部会の3つの部会を設け、事業を推進している。事務局は、総会及び運営委員会の事務その他、プラットフォーム全般の事務を処理する。また、事務局内に設置する3部会合同連絡会が、**事業実施に関する**部会間の連絡調整等を担っている。

（1）組織体制



(2) 構成機関

大学等（9機関）
香川大学
香川県立保健医療大学
四国学院大学
徳島文理大学
高松大学
香川短期大学
高松短期大学
せとうち観光専門職短期大学
香川高等専門学校

産業界（8機関）
香川県商工会議所連合会
香川県商工会連合会
香川県中小企業団体中央会
香川経済同友会
香川県中小企業家同友会
香川県農業協同組合中央会
香川県漁業協同組合連合会
香川県銀行協会

地方自治体（18機関）
香川県
高松市
丸亀市
坂出市
善通寺市
観音寺市
さぬき市
東かがわ市
三豊市
土庄町
小豆島町
三木町
直島町
宇多津町
綾川町
琴平町
多度津町
まんのう町

2 中長期計画について

(1) 計画の目的

- 本計画は、高等教育機関の現状や課題を踏まえ、「香川県的高等教育及び地域の活性化」に資するために、本プラットフォームがどのような役割を果たすべきか、その進むべき方向性を確認するために策定するものであり、今後5年間の活動の指針となるものである。

(2) 活性化対象地域

- 本計画の活性化対象地域は、本プラットフォームが活性化の対象として設定している地域（香川県）とする。

(3) 計画の期間

- 令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とする。

(4) 現状と課題

- 本県の人口は、平成11(1999)年の約103万人をピークに減少に転じ、令和5(2023)年の人口は約93万人と、平成12(2000)年以来24年連続で減少している。また、人口に占める生産年齢人口の割合も減少傾向にあり、地域社会・地域経済を支える人材不足が予測される。【図表1、2】

- 本プラットフォームにおいて実施した、「県内企業の採用活動に関する実態調査（令和6年3月）」では、県内企業の平均人材充足率は62%となっており、すでに県内における人材不足が深刻化していることが分かる。

- 大学進学者の多くが県外へ進学している。県内高校出身者で令和5年4月に大学に進学した者のうち、県内大学へ進学した者の割合は17.4%、短大へ進学した者のうち、県内短大へ進学した者の割合は67.3%である。【図表3】

- 県内の大学・短大の入学定員及び入学者数は減少傾向にあり、2023年度における県内の大学の入学定員充足率は93.2%、短大の入学定員充足率は67.1%となっている。大学進学率は増加傾向にあるものの、18歳人口自体は減少傾向にあり、文部科学省「2040年の各都道府県進学者数等推計（2021年基準）」では、2040年の香川県の大学入学定員充足率推計を77.7%としている。【図表4、5、6】

- 県内出身者が県内大学・短大・高等専門学校に進学すれば、約8割が県内に就職していることから、県内の地域社会・地域経済を支える人材を確保するためには、県内就職率を増加させるとともに、県内進学率の向上を目指す必要がある。【図表7】

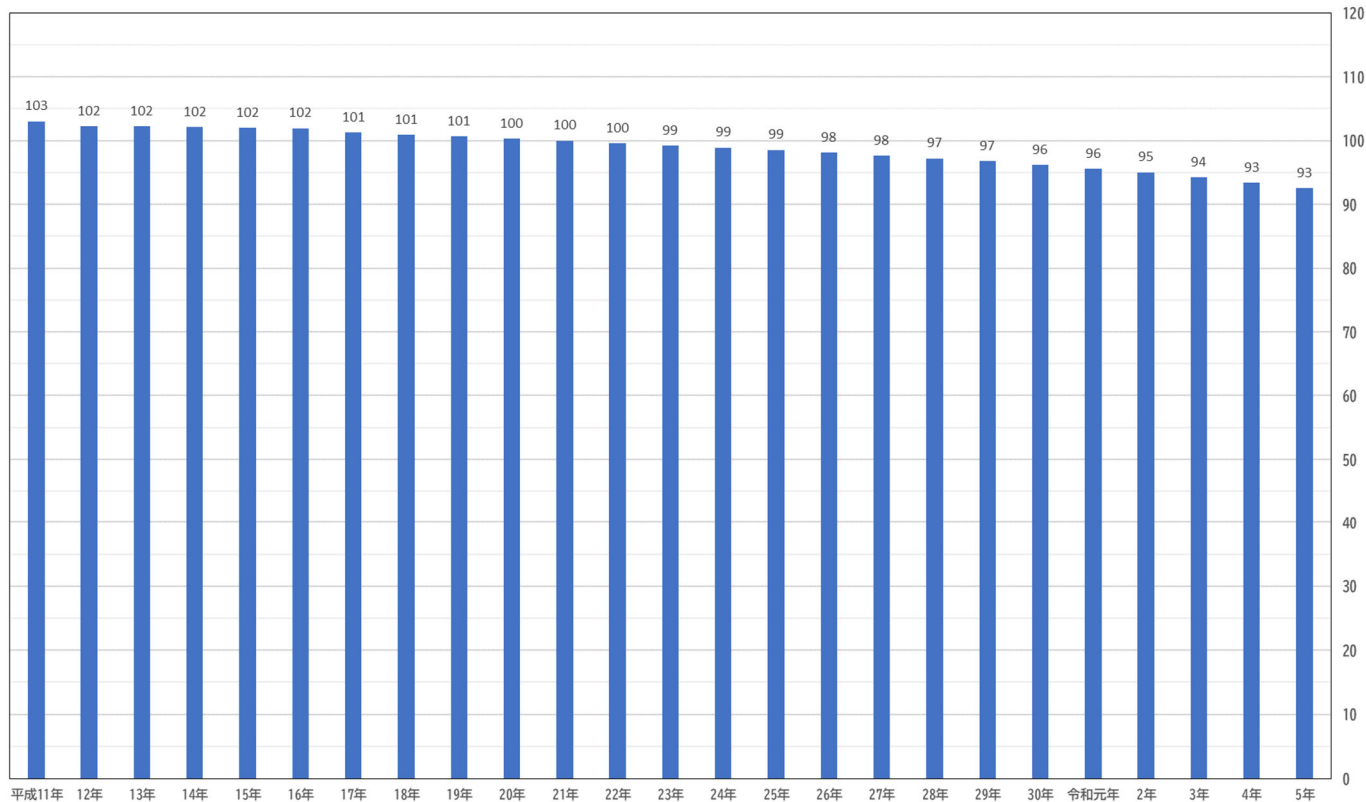
- こうした状況の中、香川県においては、令和3(2021)年度からの新たな香川づくりの指針として、「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）」が策定されている。

- 当該計画における重点施策「人口100万人計画」における取組みの一つとして「県内大学等との連携強化」を掲げ、県内大学等との連携強化、県内大学等の拠点性や魅力の向上に取り組んでいる。

【図表 1】

香川県の人口推移（平成11年～令和5年）

(万人)

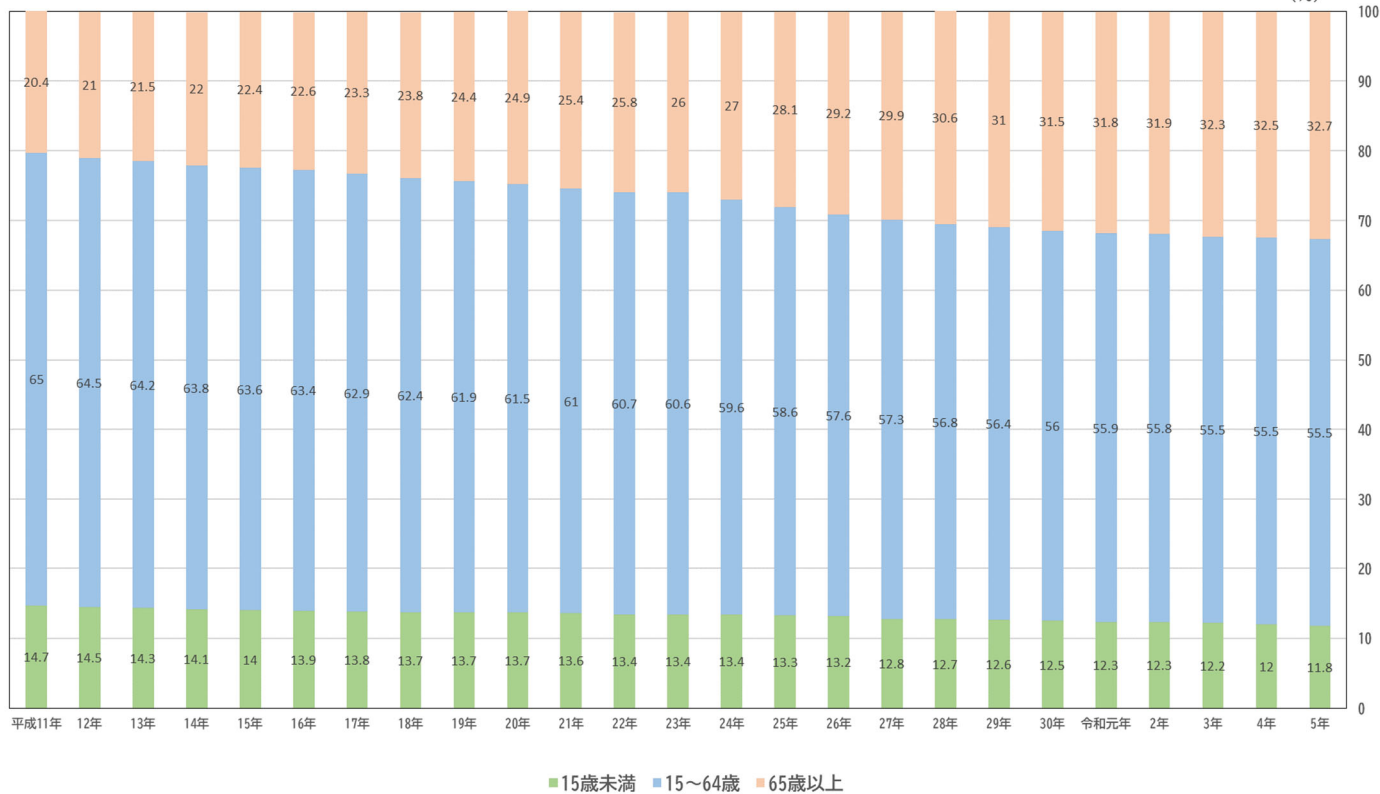


※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 2】

香川県の年齢別人口構成の推移（平成11年～令和5年）

(%)



※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 3】

香川県内大学・短大への県内進学者数

入学年月	大 学			短 大		
	県内大学進学者数（人）	大学進学者（人）	割合（％）	県内短大進学者数（人）	短大進学者数（人）	割合（％）
令和5年4月	874	5,031	17.4	263	391	67.3
令和4年4月	850	4,876	17.4	282	385	73.2
令和3年4月	832	4,840	17.2	322	446	72.2
令和2年4月	827	4,929	16.8	322	487	66.1
平成31年4月	861	4,874	17.7	316	466	67.8
平成30年4月	837	4,778	17.5	362	517	70.0
平成29年4月	845	4,733	17.9	345	498	69.3
平成28年4月	785	4,461	17.6	302	476	63.4
平成27年4月	784	4,422	17.7	338	501	67.5
平成26年4月	752	4,513	16.7	333	522	63.8
平成25年4月	782	4,464	17.5	364	547	66.5
平成24年4月	701	4,311	16.3	328	527	62.2

※香川県統計調査課「学校基本統計」より作成

※「大学進学者数」及び「短大進学者数」は、県内高校出身者で大学・短大に進学した者の数

※「県内大学進学者数」及び「県内短大進学者数」は、県内高校出身者で県内大学・短大に進学した者の数

【図表 4】

香川県内大学・短大・高等専門学校の入学生数・入学者数

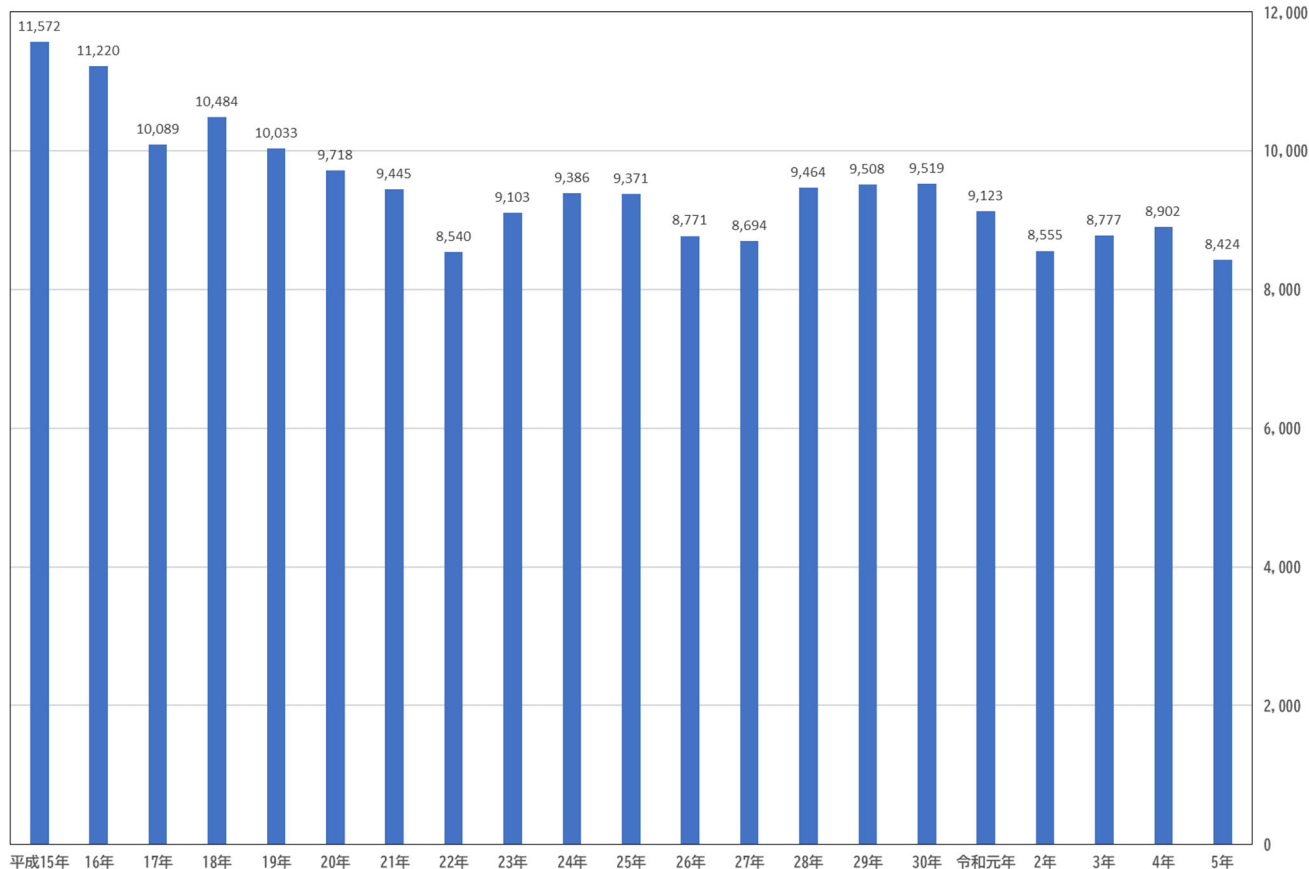
年度	大学			短大			高等専門学校		
	入学定員（人）	入学者数（人）	充足率（％）	入学定員（人）	入学者数（人）	充足率（％）	入学定員（人）	入学者数（人）	充足率（％）
令和5年度	2,189	2,040	93.2	450	302	67.1	280	292	104.3
令和4年度	2,189	2,125	97.1	450	326	72.4	280	295	105.4
令和3年度	2,189	2,092	95.6	480	368	76.7	280	291	103.9
令和2年度	2,189	2,134	97.5	400	358	89.5	280	296	105.7
令和元年度	2,189	2,163	98.8	400	358	89.5	280	293	104.6
平成30年度	2,279	2,122	93.1	400	402	100.5	280	293	104.6
平成29年度	2,279	2,122	93.1	440	382	86.8	280	295	105.4
平成28年度	2,319	2,077	89.6	440	331	75.2	280	292	104.3
平成27年度	2,319	2,098	90.5	440	373	84.8	280	289	103.2
平成26年度	2,319	2,090	90.1	460	374	81.3	280	296	105.7

※香川県集計

【図表 5】

香川県の18歳人口の推移（平成15年～令和5年）

(人)



※香川県統計調査課「香川県人口移動調査」より作成

【図表 6】

(参考) 2040年の各都道府県進学者数等推計(2021年基準)④

	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	その他
18歳人口【2021】	9,310	12,483	6,184	46,524	8,412	12,691	16,741	10,244	10,517	15,625	16,363	
高校等卒業生数【2021】	8,593	11,445	5,891	41,516	7,697	11,857	15,073	9,745	9,842	14,227	14,424	
大学進学率【2021】	4,840	6,144	2,845	22,333	3,455	5,434	7,075	4,091	4,180	6,126	7,002	17,919
大学進学率【2021】	52.0%	49.2%	46.0%	48.0%	41.1%	42.8%	42.3%	39.9%	39.7%	39.2%	42.8%	
大学進学率(国公私立)【2021】	13.5% 3.7% 34.7%	14.8% 4.2% 30.2%	9.9% 6.2% 29.8%	9.3% 3.0% 35.7%	12.3% 2.1% 26.7%	14.2% 5.3% 23.3%	10.1% 3.4% 28.8%	13.5% 4.2% 22.3%	12.8% 4.2% 22.8%	12.0% 2.4% 24.8%	9.6% 3.4% 29.8%	
短大進学率【2021】	4.8%	4.5%	4.3%	4.4%	4.2%	3.8%	3.2%	7.1%	4.7%	7.2%	3.6%	
専門学校進学率(現役)【2021】	15.8%	17.1%	16.1%	16.1%	16.5%	15.5%	18.1%	20.1%	16.1%	19.6%	24.0%	
大学数【2021】	4	5	5	35	2	8	9	5	7	6	8	
大学数(国公私立)【2021】	1 1 2	1 1 3	1 2 2	3 4 28	1 0 1	1 1 6	1 1 7	1 1 3	1 2 4	2 0 4	1 3 4	
入学定員【2021】	2,189	3,860	2,215	25,761	1,818	3,986	5,712	3,520	2,335	3,683	3,972	
入学定員(国公私立)【2021】	1,239 90 860	770 81 1,880	1,075 860 280	4,110 1,999 19,652	1,278 0 540	1,641 730 1,615	1,867 480 3,565	1,070 80 2,370	1,035 300 1,000	2,053 0 1,630	1,547 840 1,785	
大学入学者数【2021】	2,092	3,875	2,212	25,963	1,817	3,914	5,643	3,029	2,174	3,652	4,153	
(国公私立)【2021】	1,278 90 727	718 100 1,957	1,110 806 196	4,214 2,097 19,652	1,315 0 502	1,657 752 1,505	1,706 505 3,432	1,066 81 1,862	1,064 312 796	2,100 0 1,552	1,587 864 1,822	
県外から流入【2021】	1,260	1,840	1,459	11,422	1,244	1,942	2,357	1,947	1,096	1,601	937	
県内から流出【2021】	4,008	4,109	2,092	7,792	2,882	3,462	3,789	3,009	3,102	4,075	3,786	
流出入差(流入-流出)【2021】	-2,748	-2,269	-633	3,630	-1,638	-1,520	-1,432	-1,062	-2,006	-2,474	-2,849	
自然進学率【2021】	17.2%	33.1%	26.5%	65.1%	16.6%	36.3%	46.4%	26.4%	25.8%	33.5%	45.9%	
18歳人口推計【2040】	6,054	7,871	3,924	38,596	6,114	8,734	12,888	7,335	7,589	11,545	14,641	
大学進学率推計【2040】	3,517	4,389	2,021	18,989	2,670	4,347	5,566	3,172	3,129	4,808	6,952	19,329
大学進学率推計【2040】	58.1%	55.8%	51.5%	49.2%	43.7%	49.8%	43.2%	43.2%	41.2%	41.6%	47.5%	
大学入学者数推計【2040】	1,702	3,152	1,800	21,121	1,478	3,184	4,591	2,464	1,769	2,971	3,379	
(国公私立)【2040】	1,037 73 591	478 81 1,592	903 737 159	3,428 1,706 15,987	1,070 0 408	1,348 612 1,224	1,388 411 2,792	683 66 1,515	686 254 649	1,708 0 1,263	1,275 540 1,564	
入学定員充足率推計【2040】	77.7%	81.7%	81.2%	82.0%	81.3%	79.9%	80.4%	70.0%	75.7%	80.7%	85.1%	
(国公私立)【2040】	83.7% 81.4% 68.8%	83.6% 81.4% 80.0%	84.0% 85.7% 56.9%	83.4% 85.3% 81.4%	83.7% - 75.6%	82.1% 83.8% 75.8%	83.3% 85.6% 78.3%	82.6% 82.4% 63.9%	83.6% 84.6% 64.9%	83.2% - 77.5%	82.4% 84.4% 87.6%	

※文部科学省「2040年の各都道府県進学者数等推計(2021年基準)」

【図表 7】

県内大学卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	1,617	628	42.2	673	528	78.5
令和4年3月	1,514	667	44.1	610	476	78.0
令和3年3月	1,573	681	43.3	659	530	80.4
令和2年3月	1,648	668	40.5	627	485	77.4
平成31年3月	1,598	649	40.6	619	475	76.7
平成30年3月	1,548	655	42.3	584	473	81.0
平成29年3月	1,558	705	45.3	606	499	82.3
平成28年3月	1,511	646	42.8	557	442	82.3
平成27年3月	1,511	664	43.9	592	467	78.9
平成26年3月	1,443	664	46.0	579	486	83.9

県内短大卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	285	251	88.1	261	246	94.3
令和4年3月	301	272	90.4	276	263	95.3
令和3年3月	319	278	87.1	289	268	92.7
令和2年3月	327	292	89.3	308	288	93.5
平成31年3月	340	309	90.9	306	296	96.7
平成30年3月	300	271	90.3	275	263	95.6
平成29年3月	320	294	91.9	293	280	95.6
平成28年3月	325	296	91.1	295	283	95.9
平成27年3月	335	318	94.9	314	308	98.1
平成26年3月	298	266	89.3	267	254	95.1

県内高专卒業生の就職先

卒業年月	就職者数※ ¹ (人)	県内就職者数※ ² (人)	県内就職率※ ³ (%)	県内出身者 就職者数※ ⁴ (人)	県内出身者 県内就職者数※ ⁵ (人)	県内出身者 県内就職率※ ⁶ (%)
令和5年3月	144	67	46.5	127	64	50.4
令和4年3月	144	59	41.0	129	55	42.6
令和3年3月	140	57	40.7	127	55	43.3
令和2年3月	169	54	32.0	154	53	34.4
平成31年3月	147	50	34.0	130	49	37.7
平成30年3月	146	59	40.4	138	58	42.0
平成29年3月	143	44	30.8	123	42	34.1
平成28年3月	137	46	33.6	120	44	36.7
平成27年3月	126	42	33.3	111	40	36.0
平成26年3月	152	57	37.5	140	55	39.3

※香川県集計

※1 県内大学・短大・高专を卒業して就職した人数

※2 県内大学・短大・高专を卒業生して県内企業に就職した人数

※3 県内就職者数÷就職者

※4 県内出身者で県内大学・短大・高专を卒業して就職した人数

※5 県内出身者で県内大学・短大・高专を卒業して県内企業に就職した人数

※6 県内出身者県内就職数÷県内出身者就職数

県内大学・短大・高専卒業生の就職先

卒業年月	就職者数 (人)	県内就職者数 (人)	県内就職率 (%)	県内出身者 就職者数 (人)	県内出身者 県内就職者数 (人)	県内出身者 県内就職率 (%)
令和5年3月	2,046	946	46.2	1,061	838	79.0
令和4年3月	1,959	998	50.9	1,015	794	78.2
令和3年3月	2,032	1,016	50.0	1,075	853	79.3
令和2年3月	2,144	1,014	47.3	1,089	826	76.8
平成31年3月	2,085	1,008	48.3	1,055	820	77.7
平成30年3月	1,994	985	49.4	997	794	79.6
平成29年3月	2,021	1,043	51.6	1,022	821	80.3
平成28年3月	1,973	988	50.1	972	769	79.1
平成27年3月	1,972	1,024	51.9	1,017	815	80.1
平成26年3月	1,893	987	52.1	986	795	80.6

(5) ビジョン・基本目標及び数値目標

魅力ある瀬戸内香川の生活圏域づくりのため、地域社会の発展に寄与することを目的として、大学等を基点とするプラットフォームにより産・学・官のネットワーク強化を図り、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場を形成する

「(1)現状と課題」で述べた課題に対応するため、次の基本目標を設定する。

I 大学等間の連携や大学等と県内高校等との連携の強化を図ることにより、教育力向上及び研究を促進するとともに、県内高校生等に対して大学等の魅力を発信し、自県大学進学者の割合を増加させるとともに、県内大学等の入学者を維持する。

【取り組み】：①高大連携・進学推進事業
②大学等連携強化事業

II 地域企業がもつ魅力を発信し、県内大学生等の県内就職を促進する。

【取り組み】：①キャリア支援事業
②地域企業魅力発信強化事業

III 産学官の連携を促進する事業等を推進し、地域の活性化を図る。

【取り組み】：①地域活性化実践事業
②共創推進強化事業

総合的な達成度を測る目標指標を次のとおり設定する。

指標名	基準値 (2023年度)	目標値 (2028年度)	目標値設定の考え方
自県大学進学者の割合	17.4%	20.0%	2023年度の自県大学進学者の割合17.4%を基準として、毎年度0.5%伸ばす目標設定とする。
県内大学・短大・高専入学者数	2,634人	2,634人	2023年度県内大学・短大・高専入学者数2,634人維持を目標設定とする。
県内大学・短大・高専卒業生の 県内就職率	46.2%	52.2%	2023年3月に卒業した県内大学・短大・高専生の県内就職率46.2%を基準として、毎年度1%ずつ伸ばす目標設定とする。

(6) 評価体制・評価時期・評価の反映方法

- ・評価体制：運営委員会において、活動指標に対する実績に基づく評価を行う。
- ・評価時期：原則として、事業年度終了の翌年度第2四半期末までに行うものとする。
- ・評価の反映方法：運営委員会における翌年度の事業計画策定時、前年度の評価及び意見を反映させることとする。

(7)ロードマップ

△印:検討 ○印:実施 ◎印:次期計画に向けて検討

※「活動指標2028年度」の数値は未確定（各部会に確認が必要）

①高大連携・進学推進事業（主幹部会：進学・教育部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度 実績	20 24	20 25	20 26	20 27	20 28	活動指標 2028年度
・大学等の 連携により 教育力向上 及び研究を 促進すると ともに、県 内高校生等 に対して大 学等の魅力 を発信し、 県内進学者 の増加を図 る。	1	出前講座・体験講座 等への講師派遣	1) 出前講座等 高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座を実施する。出 前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用につ いて積極的に働きかける。 2) 香川わくわく子ども大学 大学等の特色を生かした講座開設により、小学生の学びに向 かう力を育成し、課題発見能力や問題解決能力を高める。 3) 探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣 高校の「総合的な探究の時間」に大学等の教職員を派遣して 指導・助言を行う。	1) 37件実施 2) 13講座開設 3) 1校で実施	○	○	○	○	○ ◎	1) 50件 2) 15講座 3) 5校
	2	県内大学等合同進学 説明会開催	大学等への理解を深めるため、合同の進学説明会を県内高校 に出向き、県内大学から県内就職した卒業生を加えて実施	4校で開催	○	○	○	○	○ ◎	7校
	3	教員対象県内大学等 合同進学説明会開催	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会を実施	ニーズ調査・検 討	○	○	○	○	○ ◎	1回
	4	高大連携キャリアデ ザイン研修	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修（合同 説明会、大学等訪問受入）、機関紙やHPへの寄稿など	1) 合同説明会 実施 2) 機関誌への 寄稿2回	○	○	○	○	○ ◎	1) 1回 2) 2回
	5	共同の広報活動	1) オープンキャンパスの共同広告 ホームページで日程表を公開 2) ホームページの活用 プラットフォームの様々な取組を公開 3) パンフレットスタンドの活用 高校に設置のパンフレットスタンドに県内大学等の資料を 配付 4) デジタルキャンパスガイドの活用 大学等の魅力を県内外の高校生に情報発信、県内周知のた めのチラシ作成・配布 5) 校長会等での広報 校長会や担当者会に参加し、プラットフォームの取組みを 周知、協力依頼	1) 1回 2) 随時実施 3) 随時実施 4) Webサイト「か がわキャンパス ガイド」を作成・ 公開 5) 1回	○	○	○	○	○ ◎	1) 3回 2) 50回 3) 3回 4) 1回 5) 3回
	6	外国人留学生対象の 合同大学進学説明会 の開催	外国人留学生対象の合同大学進学説明会の開催	—	△ ○	○	○	○	○ ◎	1回

②大学等連携強化事業（主幹部会：進学・教育部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度 実績	20 24	20 25	20 26	20 27	20 28	活動指標 2028年度
・大学等の 連携により 教育力向上 及び研究を 促進すると ともに、県 内高校生等 に対して大 学等の魅力 を発信し、 県内進学者 の増加を図 る。	1	大学間の単位互換	・多様かつ柔軟な学修を推進するため、大学等の開設科目の相互履修と単位認定を実施 ・教科目の開発を検討	登録者数 20人	○	○	○	○	○ ◎	登録者数 30人
	2	大学等教職員のF D・SD研修	大学等教職員研修の共同実施	3回実施	○	○	○	○	○ ◎	3回
	3	地域における高等教 育の中長期グランド デザイン検討会	大学等の地域における教育改革や教育改善につなげる中長期グ ランドデザインを検討	1回実施	○	○	○	○	○ ◎	1回
	4	数理・データサイエ ンス・AI教育事業	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを 習得できるような教育体制の構築・普及	1回実施	○	○	○	○	○ ◎	1回
	5	共同IRの実施	県内大学等に関する進学状況の分析、高校生・保護者・高校教 員等への意識調査を実施し高大接続対策に活用	1回実施	○	○	○	○	○ ◎	1回
	6	学生の国際交流	県内大学等の留学生交流会を、参加大学等を拡大・拡充して開 催 ※現在は得点に関係なし（コロナ前に入っていた設問）。た だ、外国人留学生対象の合同進学説明会を新規取組として実施 することから、残していただきたい。	1回実施	○	○	○	○	○ ◎	2回
	7	リスクマネジメント 活動	災害等に対するリスクマネジメント対応 （各部会と連携） ※香川大学の危機管理シンポジウムを想定（PF香川が共催）	1回実施	○	○	○	○	○	1回

③キャリア支援事業（主幹部会：就職・産業振興部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・県内大学生等の県内就職を促進する取組を実施するとともに、地域企業がもつ魅力を発信して中長期的な県内就職の促進を図る。	1	かがわーくフェア	県内企業が参加する対面形式等での合同企業説明会を実施	2回 参加者317人	2 320	2 320	2 350	2 350	2 380	2回 380人
	2	業種別オンライン県内企業見学ツアー	香川県内企業による動画等を使った業種別の企業説明会を開催	3回 参加学生86人	3 100	3 100	3 150	3 150	3 200	3回 200人
	3	うどん県の自治体で働こう大懇談会	香川県内の自治体等の担当者やOB/OGが一堂に集まる大懇談会を開催	1回 参加学生19人	1 30	1 30	1 50	1 50	1 60	1回 60人
	4	外国人材活用セミナー&交流会	外国人採用の経験のない県内中小企業に対し、外国人材の活用や雇用方法に関するセミナーを開催するとともに、外国人留学生と企業が接する機会を作る交流イベントを開催	—	25	25	30	30	35	35社
	5	学生と県内企業との交流会	県内大学生のキャリア支援を目的に、県内大学等出身の著名人による講演及び学生と若手OB・OG社員との座談会の開催	—	1	1	1	1	1	1回

④地域企業魅力発信強化事業（主幹部会：就職・産業振興部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度実績	2024	2025	2026	2027	2028	活動指標 2028年度
・県内大学生等の県内就職を促進する取組を実施するとともに、地域企業がもつ魅力を発信して中長期的な県内就職の促進を図る。	1	学生による企業インタビューシップの実施	学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューをする「インタビューシップ」の拡充	高校4校（225人） 大学1校（9人）	5 1	5 1	6 1	6 2	7 2	高校7校 大学2校
	2	高校・大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	高校、大学等のイベントに県内産業に関するブースを出展し、県内企業や団体の魅力発信に加え、ワークショップを通じた企業・事業を紹介する。	1校	2	2	3	3	4	4校
	3	地元中小企業魅力発見ツアー	県内高校生及び大学生を対象とする県内中小企業の見学ツアーを実施	—	2	2	2	2	2	2回

⑤地域活性化実践事業（主幹部会：地域活性化部会）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度 実績	20 24	20 25	20 26	20 27	20 28	活動指標 2028年度
産学官の連携を促進する事業等を推進し、地域の活性化を図る。	1	学生等による観光等地域資源の情報発信等	観光等の地域資源を題材に学生らによる体験取材やインバウンド向けを含む情報発信を実施、効果的な発信のための講習会を実施		○	○	○	○	○ ◎	回
	2	産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	地域で活躍する産学官関係者や学生らがつながり、相互理解を深め、連携事業創出のための基盤づくりを進める交流会等の開催	1回	○	○	○	○	○ ◎	1回
	3	学生との連携を図る活動情報の集約・発信の仕組みづくり	自治体や企業などが、学生との連携・参画を図って実施する活動・イベント・行事等の情報を広く集約、共有、発信する仕組みづくりに取り組む	—	△ ○	○	○	○	○ ◎	随時

⑥共創推進強化事業（主幹部会：3部会共通）

取組目標	No	取組名	課題を解決する取組概要	2023年度 実績	20 24	20 25	20 26	20 27	20 28	活動指標 2028年度
産学官の連携を促進する事業等を推進し、地域の活性化を図る。	1	地域課題解決に向けた共創事業の推進	地域課題解決のために産学官の連携事業（共同研究等）を実施する（各部会と連携）	1件	1	1	1	1	1	1件

【参考】県内大学等の学術分野マップ

	人文科学系	社会科学系	工学系	農学系	保健系	家政系	教育・芸術系
香川県立 保健医療大学					保健医療学部 看護学科 臨床検査学科		
香川大学		法学部 法学科 経済学部 経済学科	創造工学部 創造工学科	農学部 応用生物科学科	医学部 医学科 看護学科 臨床心理学科		教育学部 学校教育教員養成課程
四国学院大学	文学部 人文学科	社会福祉学部 社会福祉学科 社会学部 カルチュラル・ マネジメント学科					文学部 人文学科 社会学部 カルチュラル・ マネジメント学科
高松大学		経営学部 経営学科					発達科学部 子ども発達学科
徳島文理大学 香川キャンパス ※徳島キャンパス	文学部 文化財学科 日本文学科 英語英米文化学科	総合政策学部※ 総合政策学科 短期大学部※ 商科 言語コミュニケーション学科	理工学部 ナノ物質工学科 機械創造工学科 電子情報工学科 人間生活学部※ メディアデザイン学科 建築デザイン学科		香川薬学部 薬学科 薬学部※ 薬学科 保健福祉学部 診療放射線学科 臨床工学科 口腔保健学科※ 理学療法学科※ 看護学科※ 人間福祉学科※	人間生活学部 食物栄養学科 人間生活学科 短期大学部※ 生活科学科	音楽学部※ 音楽学科 人間生活学部※ 児童学科 心理学科 短期大学部※ 保育科 音楽科
香川短期大学		経営情報科(情報ビジネスコース)				生活文化学科 食物栄養専攻	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部 経営情報科(デザイン・アートコース)
高松短期大学		ビジネスデザイン学科					保育学科
せとうち観光 専門職短期大学		観光振興学科					
香川高等専門学校			本科課程(5年) 機械工学科 電気情報工学科 機械電子工学科 建設環境工学科 通信ネットワーク工学科 電子システム工学科 情報工学科 専攻科課程(2年) 創造工学専攻 電子情報通信工学専攻				

【参考】

『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画（令和3(2021)年度～令和7(2025)年度）

（抜粋）

重点政策⑦

人口100万人計画

移住・定住の促進や魅力ある地域づくり、関係人口の創出・拡大、県内大学等との連携強化などに取り組み、本県への人の流れをつくり、人口が減少し続ける流れを変え、定住人口の拡大につなげます。

現状と課題

- ◇ 本県の人口は、平成12(2000)年以来、減少が続いており、令和5(2023)年4月1日現在では約92.7万人となっています。令和4(2022)年香川県人口移動調査報告では、転入者数33,645人、転出者数34,075人、430人の転出超過となっており、社会増減は転出超過傾向が続いています。
- ◇ 一方で、本県への移住者数は、令和4(2022)年度に2,499人となっており、働き方や意識の変化により地方移住への関心が高まる中、関心度やニーズに応じた施策の展開、デジタルの活用等により、移住・定住の促進に取り組み、本県への人の流れを創出する必要があります。
- ◇ 離島や過疎地域をはじめ、県下の各地域では、人口減少や高齢化により、地域を支える担い手の不足や地域社会の活力低下が懸念される状況にあります。地域住民主体の地域づくり活動の促進を図るとともに、地域外の人材も含め多様な担い手の確保・活用や、地域外の人材と地域をつなぐ中間支援組織の育成等に取り組む必要があります。
- ◇ 進学や就職の時期における若者の県内定着等の課題解決に向けて、若者が集う地域の県内大学等を基点に、地域の各主体間の連携を強化する必要があります。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた課題】

- ◇ 大都市圏への過度の集中のリスクが再認識され、地方移住への関心が高まっており、テレワークの活用を推進するなど、働き方や生活様式、ニーズの変化に対応した取組みが求められています。

取組の方向

1 かがわの魅力の情報発信

- ◇ 移住の検討を始める方などに対して、市町や関係機関と連携した大都市圏での移住・交流フェア等の開催や、移住ポータルサイトやSNS、インターネット広告等さまざまな媒体の活用を通して、本県の魅力を情報発信します。

2 仕事や住まいのマッチング

- ◇ 移住希望者のニーズに応じた、移住・交流コーディネーターによる相談対応や関係機関と連携した就職相談、空き家バンクによる住宅の斡旋など、仕事や住まいのマッチングに取り組みます。

3 定住のサポート

- ◇ 移住された方々に安心して暮らし続けてもらえるよう、相談しやすい仕組みを整えるとともに、移住者同士のネットワークづくりが図られるよう、移住者 交流会を開催するなど、定住のサポートを行います。

4 魅力ある地域づくりと関係人口の創出・拡大

- ◇ 地域コミュニティの活性化を図るため、地域住民が主体となって実施する地域づくり活動を支援し、魅力ある地域づくりを進めます。
- ◇ 地域を支える担い手の確保や中間支援組織の育成を図り、将来的な移住・定住につなげるため、関係人口と連携・協働して行う地域づくり活動を支援するほか、地域外の人々が離島等を訪れる仕掛けづくりに取り組むなど、関係人口の創出・拡大を図ります。

5 県内大学等との連携強化

- ◇ 県内大学等を基点とする産学官連携の枠組みを活用して、地域の社会経済を支える人材の育成・定着、人材が活躍する場の形成に向けて行う取組みを支援するなど、県内大学等との連携を強化し、県内大学等の拠点性や魅力の向上を図ります。
- ◇ 職業人材を育成する観点から、県内の専修学校等における地元企業等との連携による実践的な職業教育の質の向上に向けた取組みを支援します。

6 県内就職の促進

- ◇ 県内企業の人材確保拠点である「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」におけるきめ細かなマッチング支援を行うとともに、合同就職説明会やセミナー等の開催、オンラインを活用した情報発信・就職支援などに取り組み、若者等の県内就職を促進します。
- ◇ 高校でのキャリア教育における、地域企業等と連携したインターンシップ、県内企業の魅力や県内就職の利点の紹介などを通じ、高校生の主体的な進路選択につなげ、次代の香川を担う人材の育成を推進します。
- ◇ 学生に本県の魅力やUターン・県内就職に関する情報を提供するとともに、「就職支援に関する協定」を締結した県外の大学と連携し、学生の県内就職につなげていきます。
- ◇ 大学等卒業後に県内就職・地元定着した方に奨学金の返還の一部免除等を行う、本県独自の「香川県大学生等奨学金制度」や地元産業界とも連携して実施する「日本学生支援機構第一種奨学金返還支援制度」の実施により、若者の地元定着を促進します。

県民等とともに推進する取組み

〔県民〕

- ・ 本県の魅力の情報発信

〔大学等〕

- ・ 県市町、企業等と連携した人材の育成・定着や地域課題の解決

〔企業〕

- ・ 県のU J I ターン施策への理解・協力
- ・ 求める人材像や職場の魅力の積極的な発信
- ・ インターンシップの受入れ

〔市町〕

- ・ 移住検討者等への本県の魅力の情報発信
- ・ 移住希望者へのサポート
- ・ 地域コミュニティの活性化に資する取組みや地域の特性を生かした、関係人口の創出・拡大

方向性を同じくするSDGsのゴール

本重点政策の取組みのうち、「かがわの魅力の情報発信」、「仕事や住まいのマッチング」、「定住のサポート」及び「県内就職の促進」は、『8 働きがいも経済成長も』の理念と、「魅力ある地域づくりと関係人口の創出・拡大」は、『11 住み続けられるまちづくりを』の理念と、「県内大学等との連携強化」は、『4 質の高い教育をみんなに』及び『11 住み続けられるまちづくりを』の理念とそれぞれ方向性が同じです。また、香川県大学生等奨学金制度等の実施は、『1 貧困をなくそう』及び『10 人や国の不平等をなくそう』の理念と方向性が同じです。



別冊：各論編 第1章 施策体系（施策の総合的展開）の関連施策

- 29 移住の促進
- 30 若者の定住促進
- 31 地域を支える活動の促進
- 32 県内大学等の充実強化
- 33 県内大学等との連携強化

重点政策⑫

あらゆる世代・人材で香川の産業を支える

働き方改革を推進し、誰もが働きやすい職場環境づくりを進めるとともに、あらゆる世代や人材の活躍により、正規雇用の促進や雇用のミスマッチ解消、職業能力の開発などを推進し、本県産業を支える人材の安定的な確保を図ります。

現状と課題

- ◇ 少子高齢化の進行や県外への人口流出などにより、特に15歳から64歳までの生産年齢人口が減少する中、本県の有効求人倍率は、平成23（2011）年8月以降、1倍を超える状況が続いており、人材不足となっている県内企業は多く、あらゆる世代や人材の就労を促進し、本県の産業を支える人材の安定的な確保が求められています。
- ◇ 本県における年間総労働時間は概ね減少傾向にあるものの、全国平均に比べ長いことなどから、長時間労働の是正やテレワークの促進など働き方改革を推進することで、誰もが働きやすい職場環境づくりを進め、労働者がそれぞれの事情に応じた多様な働き方を選択できる社会を実現するとともに、企業の労働生産性や魅力度の向上を支援する必要があります。

- ◇ 多くの業種や職種で人材が不足している一方、県内の事務的職業の有効求人倍率（令和4（2022）年）は、0.63倍と1倍を下回っており、求人と求職のミスマッチが生じています。
- ◇ 本県では、大学進学者の8割以上が県外へ進学しており、将来、地域経済を支える若者の県内への就職を促進するためには、県内外の学生等に県内企業の情報を発信し、若者の理解を深める必要があります。
- ◇ 若者の離職率（平成31（2019）年3月新規学卒就職者の3年目離職率は、中卒61.1%、高卒32.3%、大卒31.6%となっており、若者の職場定着率向上のためには、若者や経営者等の意識改革を行う必要があります。
- ◇ 令和4（2022）年10月末現在の県内の外国人労働者数は10,274人と、本県経済の持続的発展に必要不可欠な人材となっており、県内事業所における外国人材の受入れの支援を進めていく必要があります。
- ◇ 令和4（2022）年6月末現在の県内在留外国人数は14,234人と、本県人口の約1.5%を占めており、日本人住民と外国人住民の双方が尊重し合える多文化共生社会の実現に向けた取組みを進めていく必要があります。
- ◇ 地域・産業のニーズと社会経済システムの変化を踏まえた職業能力の開発を行う必要があります。高等技術学校の施設内訓練や民間教育訓練機関等を活用した委託訓練により、人材不足分野の職業訓練の充実・強化を図るとともに、新たに求められる分野の人材育成にも取り組む必要があります。

【新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた課題】

- ◇ 新型コロナウイルス感染症拡大を契機にテレワークなどの多様で柔軟な働き方の導入が進んだことから、そのような働き方を定着させるとともに、より一層進めていく必要があります。

取組みの方向

1 働き方改革の推進

- ◇ 働き方改革の必要性や重要性を啓発するとともに、それぞれの状況に応じて、テレワークなどの多様で柔軟な働き方を推進する企業等の取組みを支援することなどにより、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組めます。
- ◇ 雇用分野における労働関係法令等の普及啓発や、企業経営者や管理職、労働者の意識改革の促進などにより、働く意欲のあるすべての人が働きやすい職場環境づくりを推進します。

2 県内企業の人材確保

- ◇ 県内企業の持続的発展につなげるため、若者の雇用対策の充実や女性、高齢者、障害者等の就労支援、外国人材の受入れ支援・共生推進などに取り組むことにより、あらゆる世代・人材の安定的な確保を図ります。
- ◇ 「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」を県内企業の人材確保拠点と位置づけ、就職支援サイト「ワクサポかがわ」の運営や人材採用コーディネーターによるマッチング支援を通じて、関係機関と連携して学生や求職者の正規雇用での県内就職に向けた取組みを行うことにより、県内企業の人材確保を図ります。
- ◇ 人材不足が深刻化している分野については、多様な人材の活用を促進するとともに、人材確保が必要となる分野については、県内企業と求職者のニーズを踏まえ雇用のミスマッチを解消するなど、県内企業における人材確保に取り組めます。

3 若者の雇用対策の充実

- ◇ 就職活動前のキャリア教育などにより、学生に県内就職を考えるきっかけを提供するほか、「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」における

きめ細かなマッチング支援やオンラインを活用した情報発信や就職支援を行うとともに、合同就職説明会の開催などに取り組み、若者の正規雇用での県内就職を促進します。

- ◇ 雇用情勢を踏まえた雇用対策を進めるとともに、早い時期での離職を防ぐため、若手社員、経営者等に対する働きかけなどを実施し、若者の職場定着を図ります。
- ◇ 就職氷河期世代を含む若年無業者等に対しては、地域若者サポートステーション等の関係機関と連携し、個々の状況に応じた就労支援を行います。

4 外国人材の受入れ支援・共生推進

- ◇ 「外国人労働人材関係相談窓口」と「かがわ外国人相談支援センター」が連携し、総合的な相談支援を行います。
- ◇ 県内事業所に対し、外国人材の受入れに関する情報提供や県内定着に向けた取組を行うなど、受入れ・活躍を促進するための支援を行います。
- ◇ コミュニケーションや生活支援、防災面における支援などにより、外国人住民にとって暮らしやすい地域づくりを推進します。

5 職業能力の開発

- ◇ 職業に必要な知識や技能の習得をめざす求職者等に対し、県内企業のニーズや社会経済システムの変化を踏まえた実践的な職業訓練の機会を提供するとともに、県立高等技術学校のあり方についても検討し、職業能力開発の充実・強化を図ります。
- ◇ 技能検定の普及促進や技能の振興などに取り組み、優れた技能の社会的評価や価値の向上を図り、ものづくり技能に対する若者の意識と県民の理解を深め、次世代技能者の育成と技能の承継を促進します。

県民等とともに推進する取組み

[県民]

- ・ 業種や職種を超えた幅広い職業選択への理解
- ・ ワーク・ライフ・バランスの実現
- ・ 職業に必要な知識や技能の習得
- ・ 多文化共生の意識啓発・醸成

[企業]

- ・ 若者を含めた多様な人材の雇用と職場定着への取組み
- ・ 外国人材の受入環境の整備
- ・ テレワークなどの多様で柔軟な働き方をはじめ誰もが働きやすい職場環境づくり
- ・ 従業員の職業能力の向上

[大学・高専などの高等教育機関]

- ・ 学生に対するきめ細かな就職支援策の推進

方向性を同じくするSDGsのゴール

本重点政策の取組みのうち、「働き方改革の推進」は、『3 すべての人に健康と福祉を』、『5 ジェンダー平等を実現しよう』、『8 働きがいも経済成長も』及び『10 人や国の不平等をなくそう』の理念と、「県内企業の人材確保」及び「若者雇用対策の充実」は、『8 働きがいも経済成長も』の理念と、「外国人材の受入れ支援・共生推進」は、『8 働きがいも経済成長も』、『10 人や国の不平等をなくそう』及び『11 住み続けられるまちづくりを』の理念と、「職業能力の開発」は、『4 質の高い教育をみんなに』の理念とそれぞれ方向性が同じです。



別冊：各論編 第1章 施策体系（施策の総合的展開）の関連施策

- 44 産業の成長を支える人材の育成
- 59 安定した雇用の創出と就労支援
- 60 働き方改革の推進
- 61 外国人材の受入れ支援
- 62 外国人との共生推進
- 73 国際化の推進

「安全と安心を築く」、「新しい流れをつくる」、「誰もが輝く」の9つの指標の達成状況（令和3（2021）年度実績評価）

「安全と安心を築く」の指標

「誰もが輝く」の指標

■県内大学卒業生の県内就職率

基準値（R2 年度）	実績値（R3 年度）	目標値（R7 年度）	評価
43.3%	44.5%	52%	B

② 指標からみた施策（分野別）の進捗状況

「『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」において目標値を設定した指標（136 の目標値）について、達成状況を次の区分で分類の上、点数化し、施策（26 分野）ごとにとりまとめました。

指標の進捗度が高い施策（分野別）は、「防災・減災社会の構築」、「地域福祉の推進」、「農林水産業の振興」、「県産品の振興」、「環境の保全」などでした。

一方、「安心して暮らせる水循環社会の確立」、「青少年の育成と県民の社会参画の推進」、「みどり豊かな暮らしの創造」などは指標の進捗度が低くなっています。

〔施策（分野）別の進捗度〕

施策（分野）	達成状況						平均進捗度
	A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	—	計	
誰もが輝く香川							
(21) 魅力ある大学づくり		1	2	1		4	2.0

（注）1 「達成状況」の各欄の数字は指標数

2 「平均進捗度」は、目標値の達成状況の評価を A：4点、B：3点、C：2点、D 1点として換算し、その合計を指標数で除して算出したもの（4点満点）

3 再掲指標（7）があるため、合計は136にならない。

※136の指標の評価結果（再掲なしの全体集計）

A 評価46、B 評価29、C 評価12、D 評価29、—（評価不能）20

【指標一覧】

指標 番号	指標	単位	基準値 (R2年度)	実績値 (R3年度)	目標値 (R7年度)	評価	備考	施策 番号	再掲 施策	担当部局
2 新しい流れをつくる香川										
(9) 定住人口の拡大										
41	県人口	人	951,049 (R2年)	942,035 (R3年)	925千 (R7年)	D		29		政策部
42	人口の社会増減	人	▲1,381 (R2年) 国内社会増減 ▲1,706 国外社会増減 ▲147 県内移動・ 不明分472	▲2,969 (R3年)	1,000 (R7年)	D		29		政策部
43	県外からの移住者数〔累計〕	人	8,951 (H28～R2 年度)	2,780	12,400	A		29		政策部
44	若者（15歳～39歳）の社会増減	人	▲1,810 (R2年)	▲2,460 (R3年)	251 (R7年)	D		30		政策部
45	県内大学卒業生の県内就職率	%	43.3	44.5	52.0	B		30	68	政策部
(21) 魅力ある大学づくり										
105	自県大学進学者の割合	%	16.8	17.2	21.0	C		67		政策部
106	県内大学等における関係機関との 連携協定締結数	件	313	323	423	C		67		政策部
45	県内大学卒業生の県内就職率	%	43.3	44.5	52.0	B		68	30	政策部
107	県内大学等におけるリカレント講 座の受講者数	人	1,185 (H28～R2 年度の平均)	874	1,200	D		68		政策部

(ii) 満足度

満足度が低い施策（分野）は、「デジタル化の推進」、「農林水産業の振興」、「雇用対策の推進」などでした。

満足度

(高い順)

順位	施策（分野）	満足度 平均
1	安心して暮らせる水循環社会の確立	3.5
2	文化芸術による地域の活性化	3.3
3	教育の充実	3.3
4	県産品の振興	3.3
5	安心できる医療・介護の充実確保	3.2
6	健康長寿の推進	3.2
7	みどり豊かな暮らしの創造	3.2
8	安全で安心できる暮らしの形成	3.2
9	交流人口の回復・拡大	3.2
10	スポーツの振興	3.2
11	人権尊重社会の実現	3.2
12	青少年の育成と県民の社会参画の推進	3.2
13	男女共同参画社会の実現	3.1
14	環境の保全	3.1

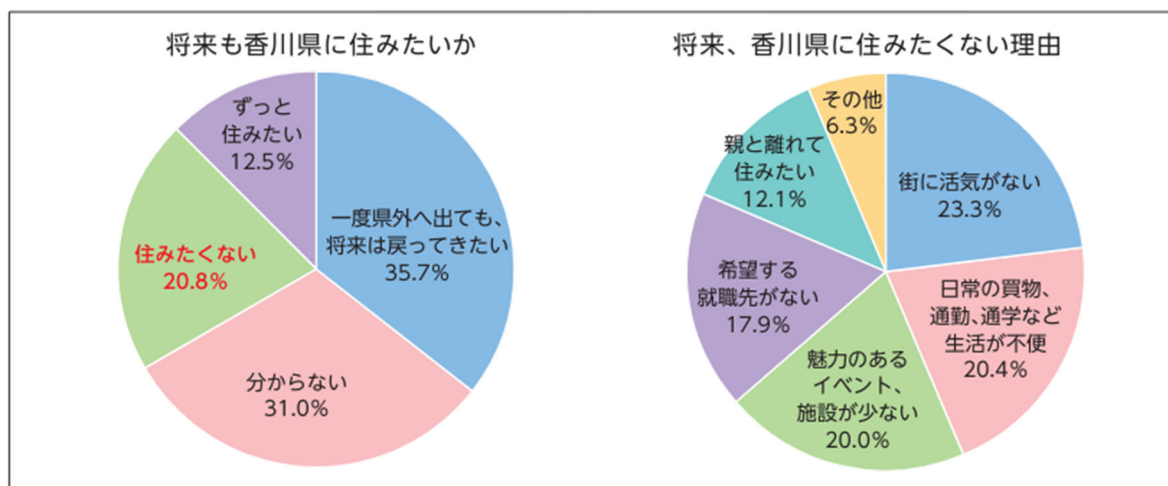
15	地域福祉の推進	3.1
16	魅力ある大学づくり	3.1
17	活力ある地域づくり	3.1
18	防災・減災社会の構築	3.1
19	子育て支援社会の実現	3.0
20	商工・サービス業の振興	3.0
21	外国人材の受入れ支援・共生推進	3.0
22	定住人口の拡大	3.0
23	交通ネットワークの整備	3.0
24	雇用対策の推進	3.0
25	農林水産業の振興	3.0
26	デジタル化の推進	3.0

2 県民意識とニーズの把握

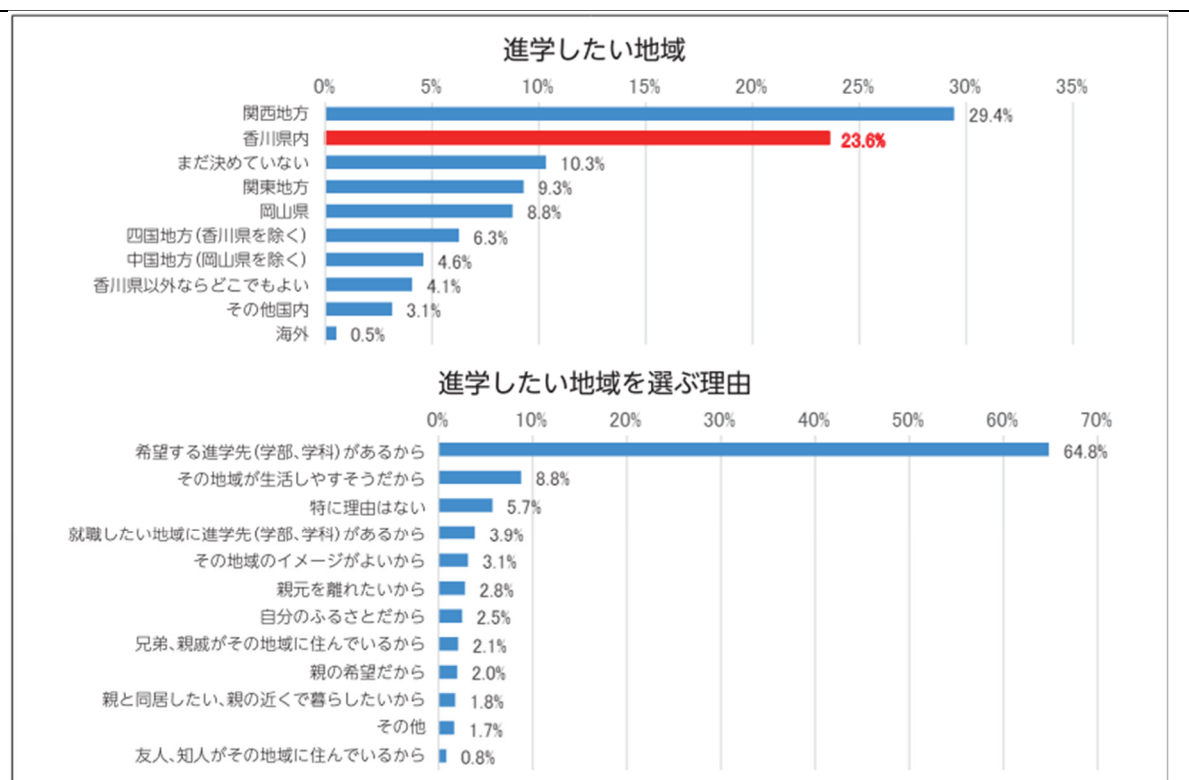
② 高校生の香川県に対する意識調査（令和5（2023）年3月実施）の現状

10年後になってほしい香川県の姿について、「子どもや若者が増えて活気にあふれている」が最も多く、次いで「大規模災害への万全な備え」、「交通事故や犯罪のない安全・安心な県」という回答が多くなっています。

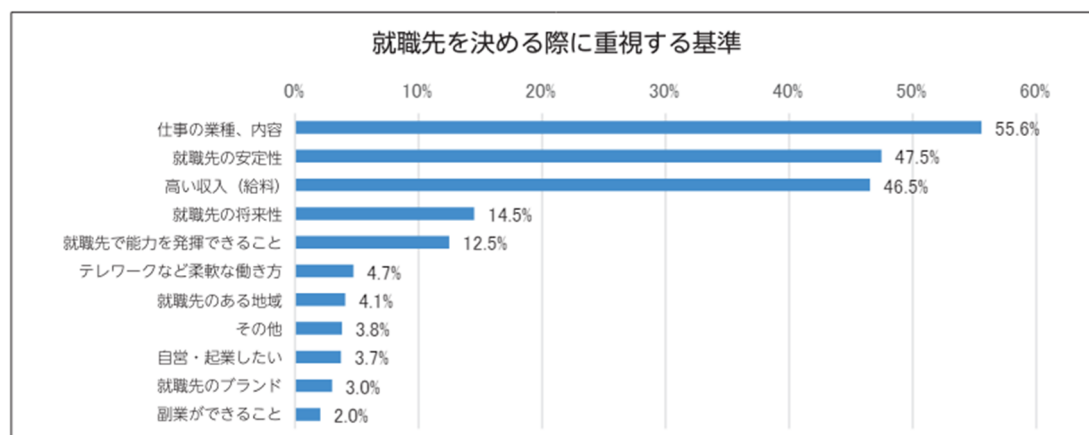
定住の意識について、「ずっと住みたい」もしくは「一度外へ出ても、将来は戻って来たい」という回答が48.2%であるのに対し、「住みたくない」という回答は20.8%でした。将来、香川県に住みたくない理由としては、「街に活気がない」が最も多く、次いで「日常の生活が不便」、「魅力のあるイベント、施設が少ない」、「希望する就職先がない」という回答がありました。



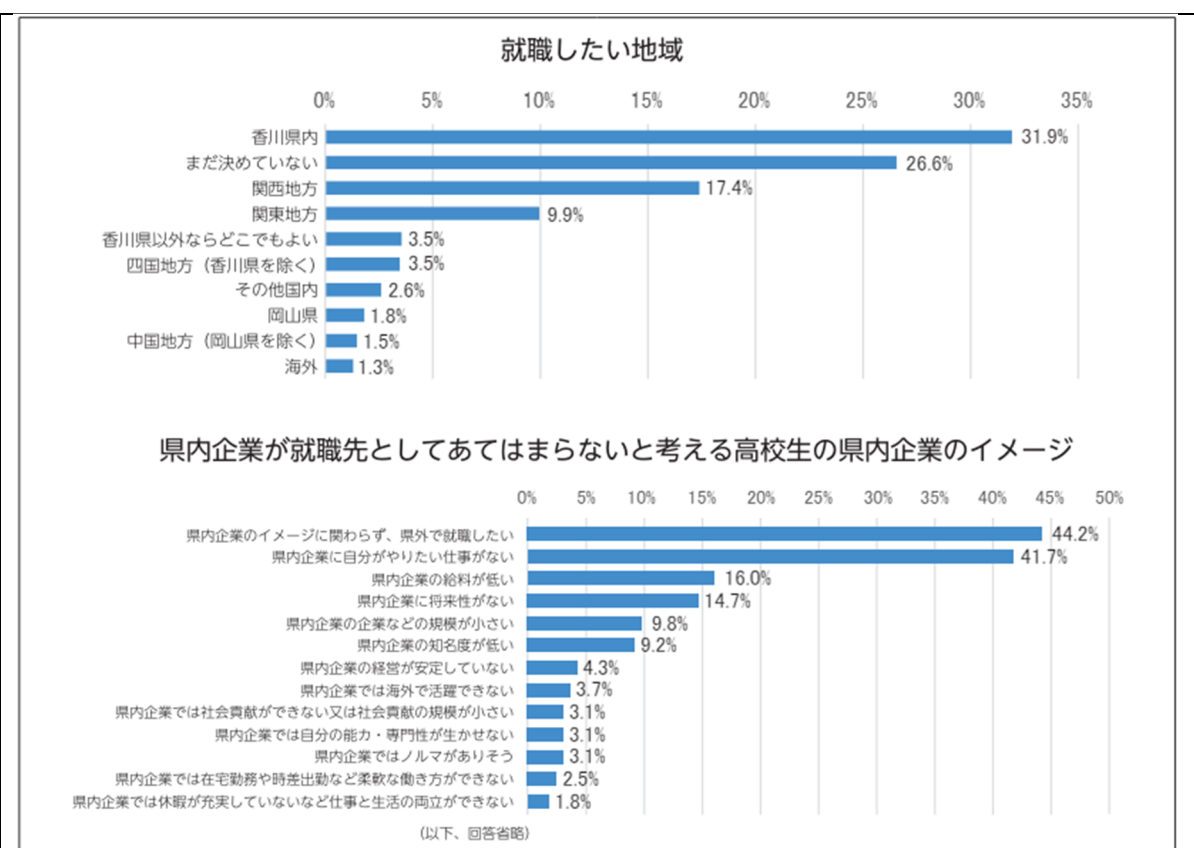
卒業後、進学を希望する高校生の進学したい地域について、「香川県内」という回答は23.6%でした。また、進学したい地域を選ぶ理由は「希望する進学先（学部・学科）があるから」が最も多く、その他「当該地域の生活の利便性」、「就職したい地域」、「地域のイメージの良さ」といった回答がありました。



就職先を決める際に重視する基準について、「仕事の業種、内容」が最も多く、次いで「就職先の安定性」、「高い収入（給料）」という回答が多くなっています。



就職したい地域について、「香川県内」と回答した高校生は 31.9%でした。県内企業が就職先としてあてはまらないと考える高校生の県内企業のイメージについて、「県内企業のイメージに関わらず、県外で就職したい」が最も多く、次いで「県内企業に自分がやりたい仕事がない」という回答が多くなっています。

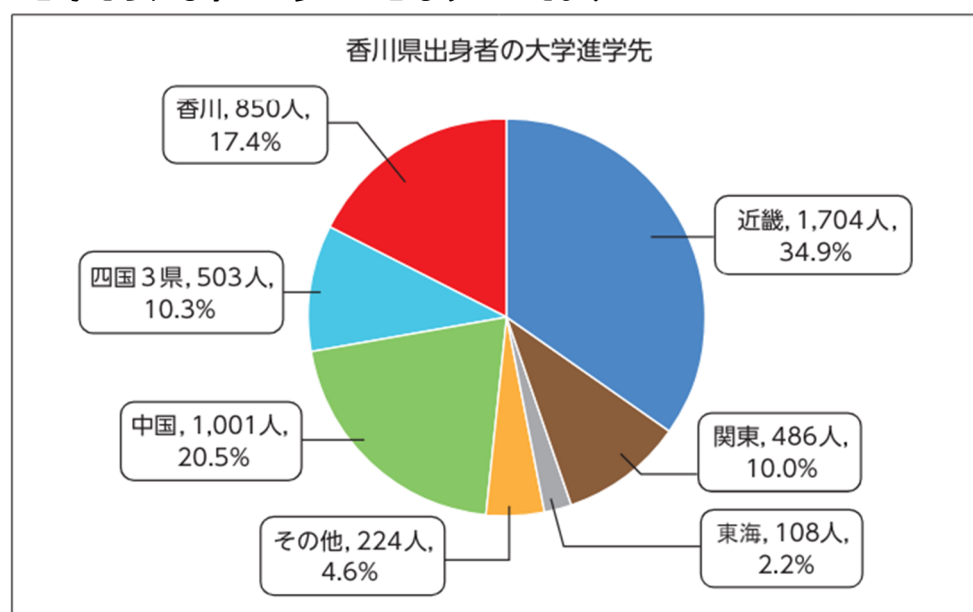


3 社会経済情勢の変化

②社会経済情勢の変化

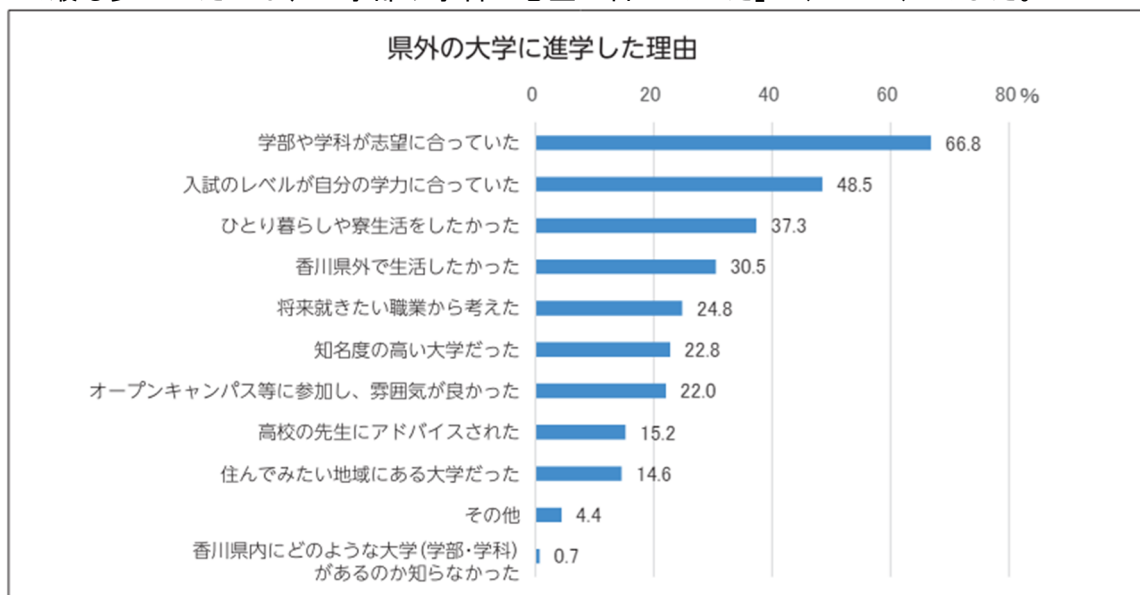
（１）人口

令和４（２０２２）年度の本県の大学進学者 ４,８７６ 人のうち、４,０２６ 人（８２.６％）が県外に進学しています。県外のうち、近畿地方が ３４.９％と最も多く、関東・東海・近畿の三大都市圏で約半数を占めています。一方で、２０.５％が中国地方、１０.３％が四国３県という比較的至近距離にある大学に進学しており、潜在的にＵターン志向があるのではないかと考えられる学生が多いこともうかがえます



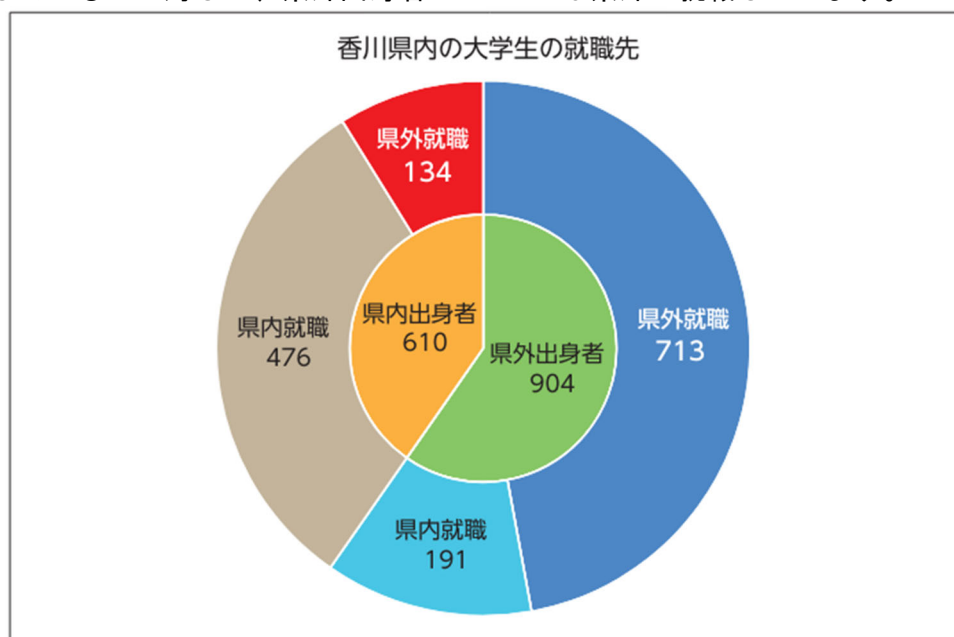
資料：文部科学省「令和４年度学校基本調査」

県外大学等への進学者を対象としたアンケートによれば、県外の大学に進学した理由で最も多かったのは、「学部や学科が志望に合っていた」（66.8%）でした。



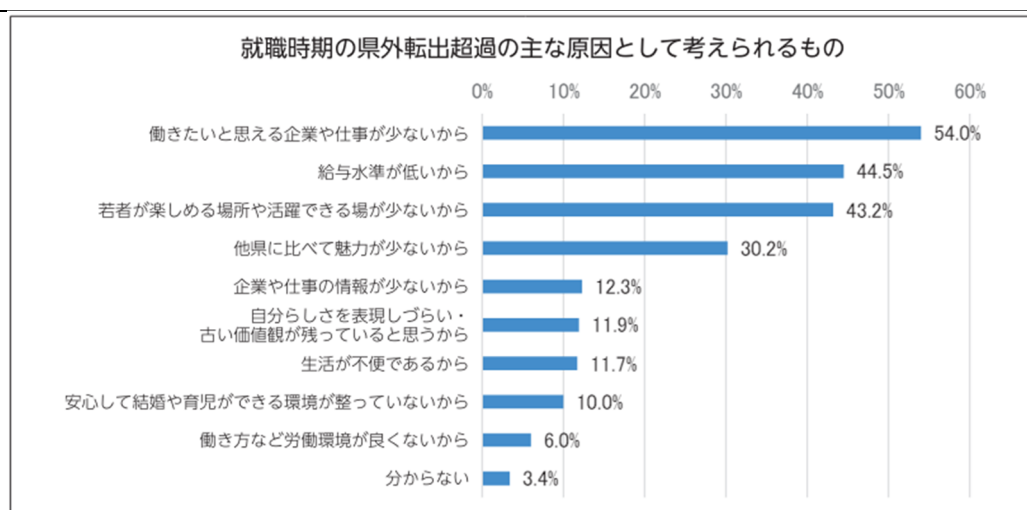
資料：香川県「県出身県外大学生等アンケート調査」（令和2年度）

令和4（2022）年3月に卒業した県内大学生のうち、県内出身者は78.0%が県内で就職しているのに対して、県外出身者の78.9%は県外で就職しています。



資料：令和4年 香川県調査

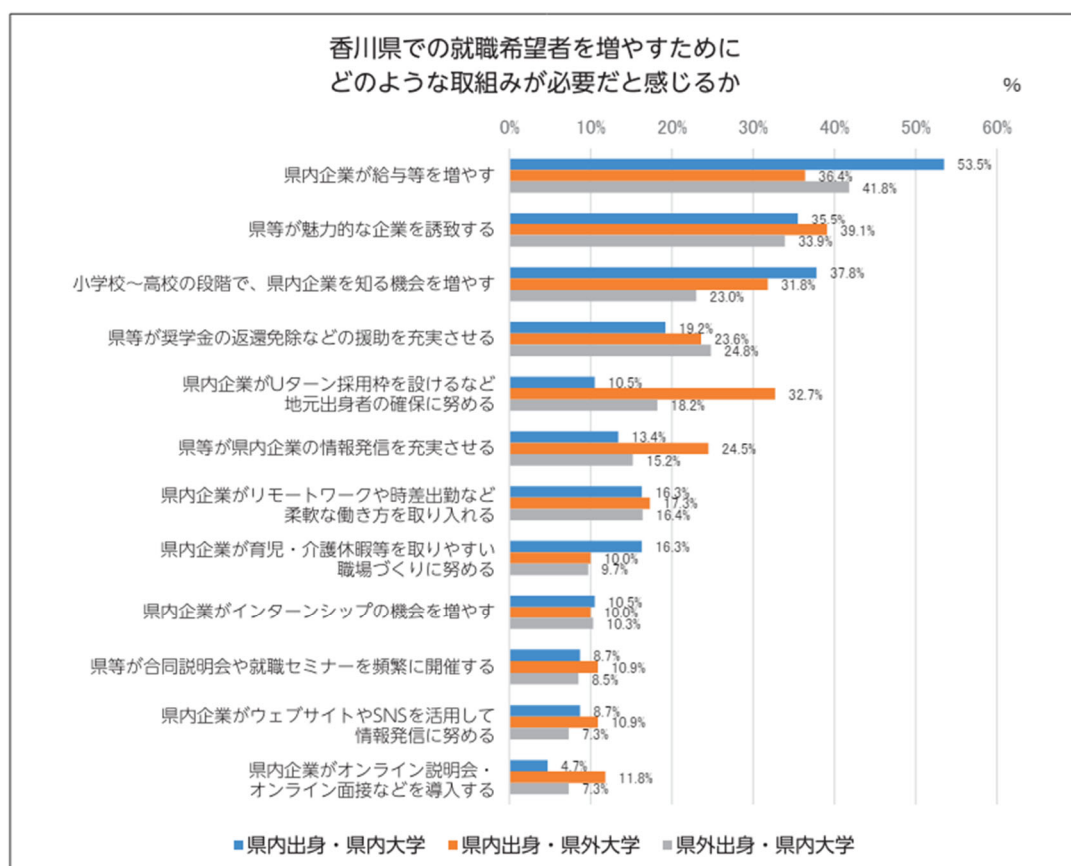
令和4（2022）年度に就職活動を行った県内の大学等（大学・短大・大学院・高専）の学生及び県外大学等へ進学した本県出身の学生を対象としたアンケートによれば、本県における就職時期の県外転出超過の主な原因として考えられるものについて、最も多かったのは、「働きたいと思える企業や仕事が少ない」（54.0%）、次いで、「給与水準が低い」（44.5%）、「若者が楽しめる場所や活躍できる場が少ない」（43.2%）となっています。



資料：大学・地域共創プラットフォーム香川
「就職活動の状況等に関するアンケート調査」（令和4年度）

香川県での就職希望者を増やすためにどのような取り組みが必要だと感じるかについて、「県内企業が給与等を増やす」が最も多く、次いで「県等が魅力的な企業を誘致する」、「小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やす」となっています。

特に、県内出身の学生は、県外出身の県内大学に在籍する学生に比べて、小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やすべきと考えている割合が高くなっています。



資料：大学・地域共創プラットフォーム香川
「就職活動の状況等に関するアンケート調査」（令和4年度）

5 課題整理

①人口減少問題の克服、地域活力の向上

(人口減少・少子高齢化の進行)

- 本県の人口は、平成 11 (1999) 年の約 103 万人をピークとして減少に転じ、令和 5 (2023) 年 4 月 1 日現在の人口は約 92.7 万人と、平成 12 (2000) 年以来 24 年連続の減少となっており、減少幅が拡大傾向となっています。国立社会保障・人口問題研究所の平成 30 年 3 月の推計によると、現状のまま何ら対策を講じなければ、今後、人口減少は加速度的に進むことが見込まれ、令和 22 (2040) 年の本県の総人口は 81 万人程度にまで減少すると推計されています。この間、年少人口、生産年齢人口が減少し、老年人口は増加から維持ヘシフトしていきます。
- さらに、現状のまま何ら対策を講じず推移した場合、令和 42 (2060) 年には、66 万人程度にまで減少すると推計され、経済規模の縮小、社会保障費の増加ひいては地域社会の衰退等が懸念され、高齢者の割合が高く、いびつな人口構造が続くものと見込まれます。
- 本県では、県外への進学や就職などにより、若い世代で県外への転出が多く見られ、特に東京圏及び大阪圏への転出が著しく大きく、このことが人口の社会減に大きな影響を及ぼしています。
- また、本県の合計特殊出生率は、緩やかに上昇していましたが、近年は減少傾向にあるとともに、出産期に当たる女性の数が減少していることを背景に、出生数は減少しています。
- 人口の転出、特に若者の流出が続けば、仮に合計特殊出生率が上昇したとしても出生数は減少が続き、人口の自然減に歯止めがかからなくなり、人口減少は加速度的に進むこととなります。

(人口減少社会への対応)

- 令和 2 (2020) 年 3 月に改訂した「かがわ人口ビジョン」では、令和 42 (2060) 年に人口約 77 万人を維持するという目標を掲げており、人口約 77 万人を維持することができれば、あらゆる世代の人口が均等な安定した人口構造となり、子どもから高齢者まで、あらゆる世代が笑顔で暮らすことができ、安心して働き、結婚し、生み育て、多くの人が集う活気ある香川県を描くことができます。
- このため、まずは、人口の社会増減をプラスに転換するため、若者に魅力のある働く場の創出をはじめ、県内の雇用創出や生活・教育環境の整備など住みやすく魅力ある地域づくりを推進することで、若い世代の県外への流出を防ぐことが必要です。
- また、人口の自然減を抑制するためには、次世代を担う若年層の増加が不可欠です。結婚・妊娠・出産・子育ての希望を実現し、若い世代が安心して出産・子育てができる環境づくりや高齢者の社会参加の促進などの取組みも必要です。

(定住人口の拡大)

- 地方への移住に関心が高まる中、移住検討者に対する本県の魅力の効果的な情報発信のほか、移住希望者への仕事や住まいのマッチング支援など受入体制の充実、安心して暮らし続けてもらえるよう定住のサポートが必要です。
- また、若者の県内定着を促進し、本県経済の活性化を図るため、若者に魅力のある働く場を創出するとともに、県内就職に関する情報発信等を通じて U J I ターン等の促進を図ることが重要です。
- さらに、県内大学等の特長を生かした魅力づくりや、学生に対する効果的な広報活動、地域連携活動を通じ、若者の県内定着を促進するため、大学等との連携を強化する必要があります。

3 キャリア支援事業【主幹部会：就職・産業振興部会】

県内大学等および各経済団体は県内就職の推進を行っており、これまでの内容を点検・検証し、継続・改善に止まらず、新たなキャリア支援策にチャレンジして県内学生の県内就職と定着の拡大を目指す。

取組	内容・達成目標・指標	2024年			2025年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
かがわーくフェア	・合同企業説明会に向けて、各機関が連携して参加学生の増員と新たな魅力づくりを行う。 ・目標 2回、参加者320人	・企画、準備 ・実施	・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
業種別オンライン 県内企業見学 ツアー	・香川県内企業による動画等を使った業種別の企業説明会を開催する。 ・目標 3回、参加学生100人	・企画、準備	・募集 ・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討
うどん県の自治体 で働こう大懇談会	・香川県内の自治体等の担当者やOB・OGが一堂に集まる大懇談会を開催する。（共催事業） ・目標 1回、参加学生30人	・企画、準備	・募集 ・実施	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討
外国人材活用セミナー&交流会	外国人採用の経験のない県内中小企業に対し、外国人材の活用や雇用方法等に関するセミナー開催とともに、外国人留学生と企業が接する機会を作る交流イベントを開催する。 ・目標 参加企業数25社	・企画、準備	・準備	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
学生と県内企業との交流会	県内大学生のキャリア支援を目的に、県内大学等出身の著名人による講演及び学生と若手OB・OG社員との座談会を開催する。 ・目標 1回	・企画、準備	・準備	・分析、評価 ・改善等の検討	・分析、評価 ・改善等の検討

4 地域企業魅力発信強化事業【主幹部会：就職・産業振興部会】

取組	内容・達成目標・指標	2024年			2025年
		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
学生による企業インタビューシップの実施	学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」を実施する。 ・目標 高校5校、大学1校	・企画、準備	・準備 ・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	高校、大学等のイベントに県内産業に関するブースを出展し、県内企業や団体の魅力発信に加え、ワークショップを通じた企業・事業を紹介する。 ・目標 2回	・企画、準備	・準備 ・実施	・実施	・分析、評価 ・改善等の検討
地元中小企業魅力発見ツアー	県内高校生及び大学生を対象とする県内中小企業の見学ツアーを実施し、県内企業の魅力発信を強化する。 ・目標 2回	・企画、準備	・準備	・準備	・実施 ・分析、評価 ・改善等の検討

4. キャリア支援事業（就職・産業振興部会）

取 組	種 別	内 容	進捗状況
① 「かがわーくフェア」の強化・充実	継続	各機関が連携して参加学生の拡大と新たな魅力づくりを行うなど、合同企業説明会の強化・充実	・高松商工会議所主催(PF共催) 4/20(土)開催、参加者数延べ115人 ・香川労働局主催(PF共催) 時期未定
② 業種別オンライン県内企業見学ツアー	拡充	対象を県外大学生にも拡大し、香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会の開催	・香川大学キャリア支援センター企画・運営 8月・9月開催予定
③ うどん県の自治体で働こう大懇談会	継続	香川県内の自治体等の担当者やOB・OGが一堂に集まる大懇談会の開催	・香川大学キャリア支援センター主催(PF共催) 9/25(水)開催予定、各大学へ周知済
④ 学生・企業の就職先選定等の実態把握と対策の検討	継続	県内企業の採用活動状況調査及び学生の就職活動状況調査を踏まえ、若者の県内定着について、実態把握と対策を検討(地域活性化部会と連携)	・大学・地域共創プラットフォーム香川構成員からメンバー(委員外のメンバー参加も可能)を募集して、試行的にWGを開催することを検討中
⑤ 外国人材活用セミナー&交流会	新規	県内中小企業に対し、外国人材の活用や雇用方法等に関するセミナー開催とともに、外国人留学生と企業が接する機会を作る交流会の開催	・香川県商工会議所連合会(高松商工会議所)企画・運営 10月開催に向け、企業の掘り起こしや関係団体との連絡等調整中
⑥ 学生と県内企業との交流会	新規	県内大学生のキャリア支援を目的に、県内大学等出身の著名人による講演及び学生と若手OB・OG社員との座談会の開催	・香川短期大学企画・運営 8月開催に向け調整中

5. 地域企業魅力発信強化事業（就職・産業振興部会）

取 組 名	種 別	内 容	進捗状況
① 学生による企業インタビューシップの実施	継続	高校生・大学生等が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」の実施	【高校生】 香川県中小企業家同友会主催 県内高校5校(うち1校調整中)で実施予定 【大学生】 高松大学主催 前期・後期の授業(「キャリア開発演習」)で実施予定

② 高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	拡充	高校、大学等のイベントに県内産業に関するブースを出展し、県内企業や団体の魅力発信に加え、ワークショップを通じた企業・事業紹介	・香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会企画・運営 香川短期大学の教員・学生と連携し、新たなレシピ開発と展開を企画中。本活動を通じて、学生等への県産農畜水産物の生産に関わる団体の魅力発信を図る。 ・香川県中小企業家同友会が企画・運営する高校文化祭、大学祭のアオ活開催について、事務局に予算調整を依頼中
③ 地元中小企業魅力発見ツアー	新規	県内高校生や大学生を対象とする県内中小企業の見学ツアーを実施し、県内企業の魅力発信を強化	【高校生】 香川県中小企業団体中央会企画・運営 3月開催に向け調整中であり、高等学校PTA連合会と連携して保護者向けの企画も検討中 【大学生】 香川大学創造工学部企画・運営 8月実施に向け調整中、徳島文理大学・香川高専と連携した開催を検討中

香川県からの補助金を原資とする令和6年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金の募集を行いました。

本補助金は、提出があった事業計画書について、まずは各部長が PF 事業として適当な事業であるか確認を行い、その後 PF として香川県に提出するというスキームを取っています。

令和6年度については、30 件もの応募があり、香川県による審査を経て、次のとおり採択を行いました。

応募件数	30 件	採択件数	17 件
補助対象経費総額	58,599,000 円	交付決定額	30,000,000 円

就職・産業振興部会が関係する採択案件は次のとおりです。

事業名	補助事業者	交付決定額	事業概要
「讃岐米」のブランドマーケティング戦略の研究	★香川大学、香川短期大学、(株)四国ライス、香川県	1,673 千円	「讃岐米」及び「米」自身のブランド再構築のため、具材研究・キッチンカーを活用したおむすび販売の実証実験
農業軽労化ロボットの有効活用のための人材育成	★香川大学、大豊産業(株)、香川県	3,000 千円	イベントを通じて、農業従事者とロボット開発者総合の理解を深め、真に農業の軽労化に貢献する技術開発に繋げる
かがわの会社探検	★香川大学、(株)石垣、(株)レクザム、オリエンタルモーター(株)、(株)タダノ、香川県教育委員会	270 千円	工場見学と工作教室を組み合わせた夏休み中の小学生を対象としたイベントの開催
香川大学型 DX 推進モデル (DX 推進カタログサイトの構築、DX 人材育成教育プログラムの開発) の地域展開	★香川大学、(株)リコー ジャパン、日本マイクロソフト(株)、高松商工会議所、香川県	4,980 千円	中小企業を対象とした業務システムソリューションカタログサイトの開設、中小企業向けの DX 推進人材育成プログラムの設計・開発、「Kadai DX シンポジウム」の開催
適塩レシピの研究・PRを通じた学生と事業者のマッチング事業	★丸亀商工会議所、香川短期大学、丸亀市	1,660 千円	適塩レシピの研究・PRにより、学生のスキルアップと企業の健康に配慮した経営を推進
クラファンで解決まで導く完結型探究学習プログラムの実践	★香川高等専門学校、(株)ナイスタウン、丸亀市、丸亀市市民活動センターマルタス	910 千円	地域課題を解決する事業の立ち上げを目指したクラウドファンディングに挑戦する探究学習プログラムの実践
外国人材活用セミナー&交流会	★大学・地域共創プラットフォーム香川 (高松商工会議所)、香川大学、香川県	610 千円	県内企業向け留学生等外国人材の活用や雇用手続に関するセミナー、県内企業担当者と県内留学生との交流会の開催

県内大学等卒業生の就職状況

資料6-1

出身地	項目	種別	平成26年度 (H27.3卒)	平成27年度 (H28.3卒)	平成28年度 (H29.3卒)	平成29年度 (H30.3卒)	平成30年度 (H31.3卒)	令和元年度 (R2.3卒)	令和2年度 (R3.3卒)	令和3年度 (R4.3卒)	令和4年度 (R5.3卒)	令和5年度 (R6.3卒)
県内＋県外	就職者数	大学	1,511	1,511	1,558	1,548	1,598	1,648	1,573	1,514	1,617	1,560
		短大	335	325	320	300	340	327	319	301	285	257
		高専	126	137	143	146	147	169	140	144	144	172
		合計	1,972	1,973	2,021	1,994	2,085	2,144	2,032	1,959	2,046	1,989
	県内就職者数	大学	664	646	705	655	649	668	681	667	682	625
		短大	318	296	294	271	309	292	278	272	251	216
		高専	42	46	44	59	50	54	57	59	67	69
		合計	1,024	988	1,043	985	1,008	1,014	1,016	998	1,000	910
	県内就職率	大学	43.9%	42.8%	45.3%	42.3%	40.6%	40.5%	43.3%	44.1%	42.2%	40.1%
		短大	94.9%	91.1%	91.9%	90.3%	90.9%	89.3%	87.1%	90.4%	88.1%	84.0%
		高専	33.3%	33.6%	30.8%	40.4%	34.0%	32.0%	40.7%	41.0%	46.5%	40.1%
		合計	51.9%	50.1%	51.6%	49.4%	48.3%	47.3%	50.0%	50.9%	48.9%	45.8%
県内	就職者数	大学	592	557	606	584	619	627	659	610	673	650
		短大	314	295	293	275	306	308	289	276	261	222
		高専	111	120	123	138	130	154	127	129	127	154
		合計	1,017	972	1,022	997	1,055	1,089	1,075	1,015	1,061	1,026
	県内就職者数	大学	467	442	499	473	475	485	530	476	528	474
		短大	308	283	280	263	296	288	268	263	246	201
		高専	40	44	42	58	49	53	55	55	64	63
		合計	815	769	821	794	820	826	853	794	838	738
	県内就職率	大学	78.9%	79.4%	82.3%	81.0%	76.7%	77.4%	80.4%	78.0%	78.5%	72.9%
		短大	98.1%	95.9%	95.6%	95.6%	96.7%	93.5%	92.7%	95.3%	94.3%	90.5%
		高専	36.0%	36.7%	34.1%	42.0%	37.7%	34.4%	43.3%	42.6%	50.4%	40.9%
		合計	80.1%	79.1%	80.3%	79.6%	77.7%	75.8%	79.3%	78.2%	79.0%	71.9%
県外	就職者数	大学	919	954	952	964	979	1,021	914	904	944	910
		短大	21	30	27	25	34	19	30	25	24	35
		高専	15	17	20	8	17	15	13	15	17	18
		合計	955	1,001	999	997	1,030	1,055	957	944	985	963
	県内就職者数	大学	197	204	206	182	174	183	151	191	154	151
		短大	10	13	14	8	13	4	10	9	5	15
		高専	2	2	2	1	1	1	2	4	3	6
		合計	209	219	222	191	188	188	163	204	162	172
	県内就職率	大学	21.4%	21.4%	21.6%	18.9%	17.8%	17.9%	16.5%	21.1%	16.3%	16.6%
		短大	47.6%	43.3%	51.9%	32.0%	38.2%	21.1%	33.3%	36.0%	20.8%	42.9%
		高専	13.3%	11.8%	10.0%	12.5%	5.9%	6.7%	15.4%	26.7%	17.6%	33.3%
		合計	21.9%	21.9%	22.2%	19.2%	18.3%	17.8%	17.0%	21.6%	16.4%	17.9%

※赤塗りつぶしは、過去10年で最低の数字だったもの

令和6年5月21日
地域活力推進課 地域活性化・移住促進G
担当者：近藤・林
(内線)2145 (直通) 087-832-3125

令和5年度の移住者数・移住相談件数がまとまりました！

(移住者数：**2,765**人、移住相談件数：**5,149**件)

移住者(世帯)数は、市町で転入手続きの際に実施している任意のアンケートなどの結果を各市町からの報告に基づき集計したものです。なお、集計に当たっては進学や転勤等による一時的な転入を除いています。

移住相談件数は、市町からの報告、県の東京・大阪事務所や移住・交流コーディネーター※等の相談対応件数を集計したものです。

※移住・交流コーディネーターは、県が高松や東京に配置し、移住等に関する相談対応を行っています。

1 移住者数等 ～移住者数、移住世帯数、移住相談件数が増加～

移住者数は2,765人、移住世帯数は1,812世帯、移住相談件数は5,149件となり、移住者数及び移住相談件数は過去2番目に多い件数となっている。移住者数及び移住世帯数については、令和4年度に初めて前年度比で減少したが、令和5年度は再び増加に転じている。

項目\年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	対前年度
移住者数(人)	753	1,067	1,188	1,375	1,697	1,970	2,721	2,780	2,499	2,765	266増
移住世帯数(世帯)	510	729	808	971	1,197	1,410	1,848	1,921	1,752	1,812	60増
移住相談件数(件)	833	1,522	2,145	3,282	4,178	5,717	4,489	4,540	5,032	5,149	117増

2 移住前の住所地 ～中国・四国・近畿・関東地方からの移住者が多い傾向～

移住前の住所地は、中国・四国地方が919人(うち四国地方521人)と最も多く、次いで、近畿地方の658人、関東地方の603人などとなっている。

移住前住所地	移住者数	構成比	対前年度
北海道・東北地方	56人	2.0%	2人減
関東地方	603人	21.8%	17人増
中部地方	178人	6.4%	42人増
近畿地方	658人	23.8%	12人増
中国・四国地方	919人	33.3%	131人増
九州・沖縄地方	144人	5.2%	3人減
海外(不明含む)	207人	7.5%	69人増
計	2,765人	100.0%	266人増

3 年齢構成 ～若者・子育て世代が多い傾向～

年齢層別では、20歳代が878人と最も多く、30歳代(511人)が続く。この年齢層で全移住者の過半数を占めており、若者・子育て世代が多い傾向にある。

年齢層	移住者数	構成比	対前年度
20歳未満	345人	12.5%	18人増
20歳代	878人	31.8%	46人増
30歳代	511人	18.5%	31人増
40歳代	313人	11.3%	30人増
50歳代	319人	11.5%	73人増
60歳以上	355人	12.8%	37人増
年齢不明	44人	1.6%	31人増
計	2,765人	100.0%	266人増

4 市町別内訳

	令和5年度			令和4年度		
	移住者数	移住世帯数	移住相談件数	移住者数	移住世帯数	移住相談件数
香川県	－	－	2, 229	－	－	2, 105
高松市	679	479	658	617	436	801
丸亀市	188	111	50	89	49	55
坂出市	126	67	43	113	88	33
善通寺市	52	38	27	26	24	35
観音寺市	108	71	141	101	69	113
さぬき市	148	82	203	124	65	173
東かがわ市	133	89	48	231	113	94
三豊市	183	92	39	130	97	36
土庄町	192	119	650	136	108	511
小豆島町	179	89	747	142	123	763
三木町	92	60	56	106	84	52
直島町	114	103	71	104	87	49
宇多津町	111	77	32	94	66	27
綾川町	83	55	37	127	73	58
琴平町	51	49	32	23	20	71
多度津町	164	91	27	166	102	28
まんのう町	162	140	59	170	148	28
計	2, 765	1, 812	5, 149	2, 499	1, 752	5, 032

※移住者数及び移住世帯数については、各市町において任意のアンケートなどにより把握したものです。

大学・地域共創プラットフォーム香川

大学コンソーシアム香川

中長期計画（2019年度～2023年度）

※本改訂は、2022（令和4）年3月28日に「大学コンソーシアム香川」及び「COC+NEXTかがわ」を統合し、「大学・地域共創プラットフォーム香川」となったことから、「大学コンソーシアム香川 中長期計画（2019～2023）」を引き継ぎ、修正を行うものである。

2019年8月28日 策定
（令和4年7月29日修正）

大学・地域共創プラットフォーム香川 中長期計画 目次

設立目的及び経緯	・ ・ 1
1 高等教育における現状および課題	・ ・ 2
2 高等教育におけるビジョン・目標	・ ・ 5
3 連携体制	・ ・ 7
4 学術分野マップ（学部・学科）	・ ・ 8
5 中長期計画ロードマップ（2019 年度～2023 年度）	・ ・ 9

設立目的及び経緯

（設立目的）

大学・地域共創プラットフォーム香川（以下「プラットフォーム香川」という）は、香川県内の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「県内大学等」という。）を基点に、地域の各主体が知見を共有し、連携してこれからの地域を支える観点から、産業界、行政等を加えた産学官のネットワークを形成し、地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着及びその人材が活躍する場の形成に向けた議論と実践による共創を通じて、地域社会の発展に寄与することを目的に、２０２２年３月２８日に設置しました。

新たに設立した「プラットフォーム香川」は県内大学等９組織をはじめ、香川県と県内８市９町の全ての自治体、そして各経済団体からは８団体に参画いただき、県内を網羅した文字どおり「オール香川」という、これまでにない大きな枠組みの中でそれぞれが連携・共創し、大学や産業界、地方自治体を持つ知見の活用による様々な地域課題への対応を行います。

（設立経緯）

我が国は、工業化社会、情報化社会と右肩上がりの拡大路線で進んできましたが、これからの日本人は時間そのものが大切な価値となり、持続可能性や幸福への感が高まると予想されています。他のどの先進諸国にも先駆けて急速に進行する人口減少と高齢化社会の中で、日本が確実な歩み続けるためには、地方に持続可能で文化的に豊かな空間を構築する必要があります。

我が国社会のこのような大きな転換期を迎え、地域が今こそ結束して立ち上がらねばならない時に、地域のために大学など高等教育機関が貢献すると共に、地域も大学群と協働して取組みを進めていく、産官学共創の新しいプラットフォームの形成が求められていました。

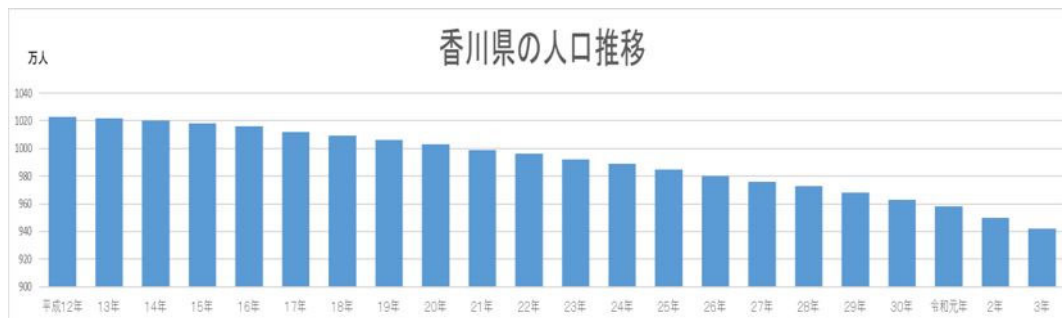
このため、「プラットフォーム香川」の前身である「大学コンソーシアム香川（２０１５年９月～）」及び「COC⁺NEXSTかがわ（２０２１年４月～）」を統合し、県内進学及び地域定着に係る事業の実績を踏まえ承継・強化するとともに、プラットフォームの主要課題である地域活性に係る県内大学と連携した地域づくり策定のための事業を実施することとしました。

1 高等教育における現状および課題

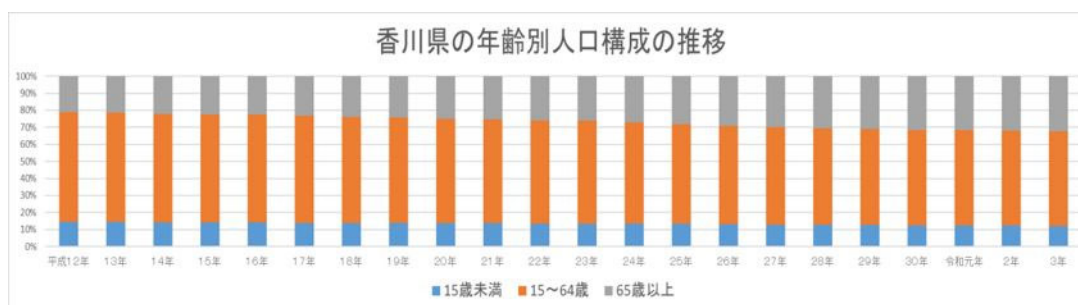
(1) 現状

- 本県の人口は、平成 11 年の約 103 万人をピークに減少に転じ、平成 30 年の人口は約 96 万人と、平成 12 年以来229 年連続の減少となっており、少子高齢化も進行している。 【図表 1、2】
- 県内には大学 5 校、短期大学 2 校、高等専門学校 1 校があるが、大学進学者の多くが県外に進学し、20 歳代の人口割合が全国平均を大きく下回っている。 【図表 3、4】
- 県内出身者が県内大学に進学すれば、約 8 割の若者が県内に就職している。 【図表 5】
- こうした中、香川県においても平成 28 年度からの新たな香川づくりの指針として、「新・せとうち田園都市創造計画（2016 度～2020 年度）」を策定し、人口減少の克服や地域活力の向上につながる効果的な施策に重点的に取り組んでいる。特に、魅力ある大学づくりのために、県内大学等の充実強化および県内大学等との連携強化について具体的な取組を行っている。
- さらに、これまでの取組みの方向性を引き継ぎながら、デジタル社会の推進などの新しい取組みにもチャレンジし、その歩みを確実なものとするため、令和 3（2021）年度から 5 年間の新たな香川づくりの指針として、「『みんなでつくるせとうち田園都市・香川』実現計画」を策定した。この中で、県内大学等と地域との連携を深めることにより、県内での修学や就業の促進を図るための県内大学等の魅力づくりを進め、若者の県内定着に努めている。

【図表 1】



【図表 2】



【図表 3】

香川県内の大学・短大への進学者数（流入元は香川県）

入学年月	大 学		短 大	
	実人数（人）	割合（％）	実人数（人）	割合（％）
令和 3 年 4 月	8 3 2	1 7 . 2	3 2 2	7 2 . 2
令和 2 年 4 月	8 2 7	1 6 . 8	3 2 2	6 6 . 1
平成 31 年 4 月	8 6 1	1 7 . 7	3 1 6	6 7 . 8
平成 30 年 4 月	8 3 7	1 7 . 5	3 6 2	7 0 . 0
平成 29 年 4 月	8 4 5	1 7 . 9	3 4 5	6 9 . 3
平成 28 年 4 月	7 8 5	1 7 . 6	3 0 2	6 3 . 4
平成 27 年 4 月	7 8 4	1 7 . 7	3 3 8	6 7 . 5
平成 26 年 4 月	7 5 2	1 6 . 7	3 3 3	6 3 . 8

【図表 4】

香川県内の 20 歳代人口（毎年 10 月 1 日現在・単位千人）

	総 数	20～29 歳	割合（％）	全国平均	全国順位
令和 3 年	9 4 2	7 9	8 . 3 9	1 0 . 0 7	2 9 位
令和 2 年	9 5 0	8 1	8 . 5 3	1 0 . 0 7	2 8 位
令和 元年	9 5 6	8 0	8 . 3 7	1 0 . 0 1	2 9 位
平成 30 年	9 6 2	8 0	8 . 3 2	9 . 9 3	2 9 位
平成 29 年	9 6 7	7 9	8 . 1 7	9 . 8 8	3 3 位
平成 28 年	9 7 2	8 0	8 . 2 3	9 . 8 8	3 3 位
平成 27 年	9 7 6	8 2	8 . 4 0	9 . 9 3	3 3 位
平成 26 年	9 8 1	8 4	8 . 5 6	1 0 . 1 4	3 2 位

【図表 5】

香川県内の大学生の就職先

卒業年月	県内就職者	うち県内出身者	うち県外出身者
令和 3 年 3 月	6 8 1 人 4 3 . 3 %	5 3 0 人 8 0 . 4 %	1 5 1 人 1 6 . 5 %
令和 2 年 3 月	6 6 8 人 4 0 . 5 %	4 8 5 人 7 7 . 4 %	1 8 3 人 1 7 . 9 %
平成 31 年 3 月	6 4 9 人 4 0 . 6 %	4 7 5 人 7 6 . 7 %	1 7 4 人 1 7 . 8 %
平成 30 年 3 月	6 5 5 人 4 2 . 3 %	4 7 3 人 8 1 . 0 %	1 8 2 人 1 8 . 9 %
平成 29 年 3 月	7 0 5 人 4 5 . 3 %	4 9 9 人 8 2 . 3 %	2 0 6 人 2 1 . 6 %
平成 28 年 3 月	6 4 6 人 4 2 . 8 %	4 4 2 人 7 9 . 4 %	2 0 4 人 2 1 . 4 %
平成 27 年 3 月	6 6 4 人 4 3 . 9 %	4 6 7 人 7 8 . 9 %	1 9 7 人 2 1 . 4 %
平成 26 年 3 月	6 6 4 人 4 6 . 0 %	4 8 6 人 8 3 . 9 %	1 7 8 人 2 0 . 6 %

【「みんなでつくる せとうち田園都市・香川」 (2021 年度～2025 年度)】(抜粋)

第 6 章 施策体系(施策の総合的展開)

基本目標 せとうち田園都市の確かな創造

基本方針 3 誰もが輝く香川

【分野 21】 魅力ある大学づくり

(施策 67) 県内大学等の充実強化取組みの方向

取組みの方向

1 若者から選ばれる「魅力ある大学づくり」に向けた支援

- 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした大学を取り巻く環境の変化や地域のニーズを的確に捉えながら、県内大学等の強みを生かした魅力づくりを支援するとともに、県内大学等が連携して取り組むことが効果的な広報活動や地域連携活動を促進します。
- 県内高校生の県内大学や私立専修学校等に対する認知度を向上させるため、県内大学等と県内高校が連携した取組みを進めます。
- 中長期的な視点に立つとともに地域のニーズを反映した県内大学等の将来構想策定を支援します。
- 人口減少対策及び地域経済に貢献する職業人材を育成する観点から、大学や私立専修学校等における地元企業等との連携による実践的な職業教育の質の向上に向けた取組みを支援します。
- 県外の大学等が県内で教育活動を展開する際の、各種研究施設やセミナーハウスなどの場所の提供も含めた支援にも取り組み、大学や私立専修学校も含めたさまざまな高等教育機関の充実について、幅広くその可能性を調査・検討します。
- 県立保健医療大学では、看護師基礎教育を充実し、地域の将来の看護を担う中核的な看護職員の育成をめざします。また、同大学院に保健師課程、助産師課程を設置し、より高度で専門的な学術理論や質の高い実践能力を修得した人材の育成をめざします。

【分野 21】 魅力ある大学づくり

(施策 68) 県内大学等との連携強化

取組みの方向

1 県内大学等との連携強化

- 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした大学を取り巻く環境の変化の中、地域の課題やニーズを捉え直したうえで、県内大学等や産業界、市町、教育機関等と議論を進め、総合的かつ効果的な対策に取り組みます。
- 県内大学等の持つ資源を有効に活用することにより、地域課題の解決に役立てるとともに、地域貢献により県内大学等の魅力を高めるため、県内大学等との連携を強化します。
- 県内大学等と連携し、県内企業の経営者等を講師とした講義や県内企業の見学会などを通じて、県内企業等の魅力を発信するとともに、県内大学の就職担当者との連絡会を通じ、インターンシップを含む学生の就職状況等を把握し、県内就職に向けた連携を図ります。
- 県内高校生の県内大学等に対する認知度の向上を目的として、県内大学等と県内高校が連携した取組みを進め、県内大学等との連携を強化します。

○地域における多様な人材の育成・確保へのニーズに対応するため、県内大学等や産業界、市町、教育機関等との横断的な議論による課題認識の共有を促すとともに、関係者相互の連携の下、県内大学等における社会人を含めた幅広い年齢層を対象に地域のリカレント教育を推進し、地域を担う実践的な専門人材の育成・確保に努めます。

(2) 課題

- 若者の県外流出に歯止めをかける必要がある。
- 地域のニーズを踏まえた高等教育の質を高める必要がある。
 - ・自治体からは、人口減少対策および地域経済に貢献する職業人材を育成することが求められている。そのためには、実践的な職業教育の質の向上を図ることなどが必要である。
 - ・初等中等教育機関からは、県内大学等に進学しても高校生の将来の夢を叶えられる魅力ある大学づくりが求められている。そのためには、県内大学等が持つ特長を十分に発信して認知度を高めるとともに、高校生の将来の夢実現や職業選択に繋がるような高等教育に取り組むことなどが必要である。
 - ・産業界からは、県内企業に就職し、技術や伝統を継承する意欲を持った人材の育成が求められている。そのためには、県内企業のニーズを把握するとともに実践的な職業教育の質の向上を図ることが必要である。
- 大学等がこれまで以上に地域貢献活動を行い、大学等の魅力を高め、将来的に学生数の増加につながるよう、大学等と地域が連携を強化する必要がある。
 - ・自治体からは、県内大学等の持つ資源を有効活用することや雇用創出・若者定着に資する取組みを求められている。そのためには、自治体が開催する行事への参加や地域の課題解決に繋がる知的財産の提供などが必要である。
 - ・初等中等教育機関からは、児童・生徒への知識・技術の習得に対する支援を求められている。そのためには、出前授業や公開講座等を通じて支援することが必要である。
 - ・産業界からは、学生の県内就職に向けた取組みや専門的な知識・技術分野の発展における連携を求められている。そのためには、企業の魅力発信および求人に関する連携や企業の課題解決に繋がる知的財産の提供などが必要である。

2 高等教育におけるビジョン・目標

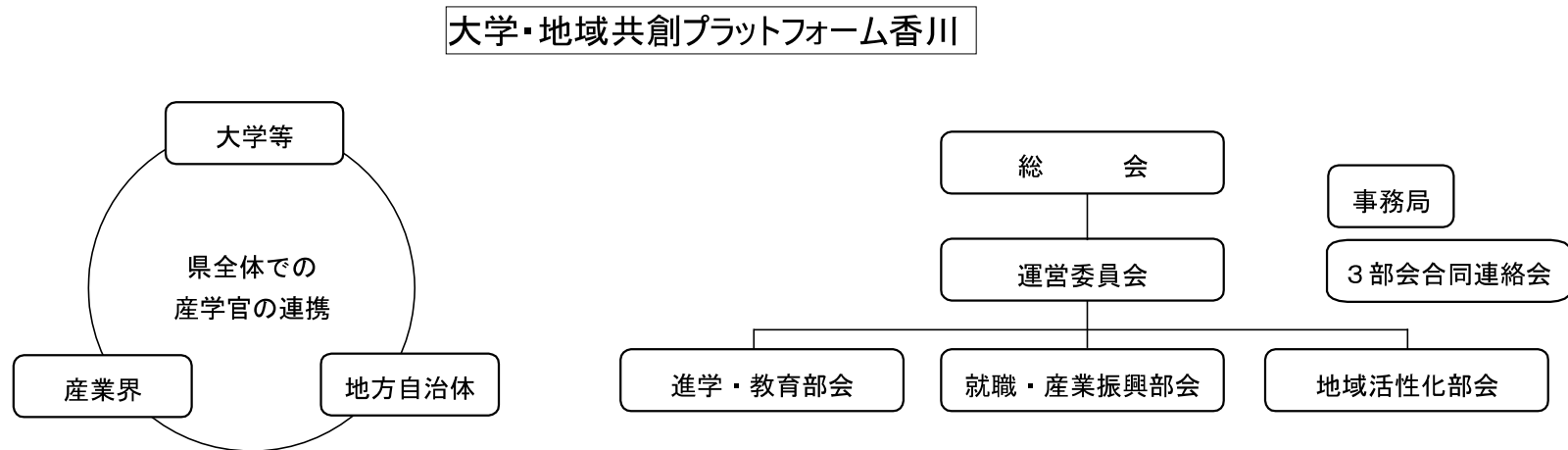
「大学・地域共創プラットフォーム香川」の役割を、大学等の質の向上・魅力化に資する組織にステップアップする。

- (1) 自治体、産業界、初等中等教育機関等との連携を強化することで、大学等の持つ資源を有効に活用し、地域の課題解決に資する。

○出前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用について積極的に働きかけ、150件の開催をめざす。

- 合同進学説明会の実施形態や内容を充実させ、7校での開催をめざす。
 - 公開授業参観日について、年1～2回の開催をめざす。
 - 公開講座について、内容の充実を図り年1回の共同開催をめざす。
 - 県内自治体が企画・開催する行事への積極的参加・支援を行えるよう、自治体に対して毎年継続的に働きかける。
 - 大学発香川県ガイド本を作成し、大学等の知的財産を活用して、香川県の魅力を伝える。
 - 合同企業説明会などキャリア支援の在り方や内容を検討し、県や経済団体と連携して就職を支援する。近年減少傾向にある学生の参加者数を増加させることをめざす。
- (2) 県内大学等の連携をさらに深めた取組みを行うことで、大学等の質の向上・魅力化を推進する。
- 単位互換の取組みを充実させる。学生のニーズに合った講座内容を検討し、受講者20人をめざす。
 - FD・SD活動に共同で取組み、年5回の開催をめざす。
 - リスクマネジメントに共同で取組み、年2回の開催をめざす。
 - 国際交流活動に共同で取組み、年2回の開催をめざす。
- (3) 効果的・効率的な広報活動により、大学等の取組に対する県民の理解を深め、県内大学等への進学率を増やし、若者の県内定着に繋げる。
- 自県大学進学者の割合を、17.5%(2018年度)から21.0%(2023年度)への引き上げをめざす。
 - 県内大学卒業生の県内就職率を、42.3%(2017年度)から52.0%(2023年度)への引き上げをめざす。

3 連携体制



【構成員】

●大学等

香川大学
香川県立保健医療大学
四国学院大学
徳島文理大学
高松大学
香川短期大学
高松短期大学
せとうち観光専門職短期大学
香川高等専門学校

●経済団体等

香川県商工会議所連合会
香川県商工会連合会
香川県中小企業団体中央会
香川経済同友会
香川県中小企業家同友会
香川県農業協同組合中央会
香川県銀行協会

●行政機関

香川県
高松市
丸亀市
坂出市
善通寺市
観音寺市
さぬき市
東かがわ市
三豊市

土庄町
小豆島町
三木町
直島町
宇多津町
綾川町
琴平町
多度津町
まんのう町

4 学術分野マップ（学部・学科）

令和5年4月更新

	人文科学系	社会科学系	工学系	農学系	保健系	家政系	教育・芸術系	その他（秘書関係）
香川県立 保健医療大学					保健医療学部 看護学科 臨床検査学科			
香川大学		法学部 法学科 経済学部 経済学科	創造工学部 創造工学科	農学部 応用生物科学科	医学部 医学科 看護学科 臨床心理学科		教育学部 学校教育教員養成課程	
四国学院大学	文学部 人文学科	社会福祉学部 社会福祉学科 社会学部 カルチュラル・ マネジメント学科					文学部 人文学科 社会学部 カルチュラル・ マネジメント学科	
高松大学		経営学部 経営学科					発達科学部 子ども発達学科	
徳島文理大学学 香川キャンパス ※印は徳島キャン パス	文学部 文化財学科 日本文学科 英語英米文化学科	総合政策学部※ 総合政策学科 短期大学部※ 商科 言語コミュニケー ション学科	理工学部 ナノ物質工学科 機械創造工学科 電子情報工学科 人間生活学部※ メディアデザイン学科 建築デザイン学科		香川薬学部 薬学科 薬学部※ 薬学科 保健福祉学部 診療放射線学科 臨床工学科 口腔保健学科※ 理学療法学科※ 看護学科※ 人間福祉学科※	人間生活学部 食物栄養学科 人間生活学科 短期大学部※ 生活科学科	音楽学部※ 音楽学科 人間生活学部※ 児童学科 心理学科 短期大学部※ 保育科 音楽科	
香川短期大学		経営情報科				生活文化学科 食物栄養専攻	子ども学科第Ⅰ部 子ども学科第Ⅲ部 経営情報科	
高松短期大学							保育学科	秘書科 ※2024年4月、ビ ジネスデザイン学 科に名称変更
せとうち観光 専門職短期大学		観光振興学科						
香川高等専門学校			本科課程（5年） 機械工学科 電気情報工学科 機械電子工学科 建設環境工学科 通信ネットワーク工学科 電子システム工学科 情報工学科 専攻科課程（2年） 創造工学専攻 電子情報通信工学専攻					

5 中長期計画ロードマップ（2019 年度～2023 年度）

（旧大学コンソーシアム香川資料）

課 題	取組内容	達成目標・指標	2018 実績	2019	2020	2021	2022	2023
初等中等教育 機関との連携	出前講座等	出前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用について積極的に働きかける。 2023年度に150件をめざす。	122件	実施 130件	135件	140件	145件	150件 検証・改善
	合同進学説明会	共同で高校に出向いて進学説明会を実施する。 2023年度に7校での実施をめざす。	3校	実施・推進 4校	4校	5校	6校	検証・改善 7校
	公開授業参観日	中・高校生等の知的好奇心醸成のため、公開授業参観日を実施する。2023年度に2回(土・日曜日)をめざす。	—	検討・調整	実施 1回	1回	2回	2回 検証・改善
地域の文化・芸術・教育等の振興	公開講座	生涯学習の観点から、大学等の知的財産を地域の人々に提供する。 年 1 回共同開催し、内容の充実も図る。	個別開催合計 152件	内容の検討	実施 1回	1回	1回	1回 検証・改善
	自治体への情報提供	県内自治体が企画・開催する行事への積極的参加・支援を行う。自治体に対して毎年継続的に働きかける。	1 回 (文書送付等)	実施				検証・改善
	大学発香川県ガイドの作成	大学等の知的財産を活用して、香川県の魅力を伝える。 1校当たり2～3件の執筆依頼、約200ページのガイド本を作成する。	—	内容の検討	作成	発刊		検証
産業界との連携	キャリア支援	県や経済団体と連携して、就職を支援する。 年2～3回開催する。 学生の参加者数を増やす。	かがわーくフェア 3回 536人	かがわーくフェア 検討・調整5 50人	実施 560人	570人	580人	590人 検証・改善

(旧大学コンソーシアム香川資料)

課 題	取組内容	達成目標・指標	2018 実績	2019	2020	2021	2022	2023	
大学等の連携強化	単位互換	学生のニーズに合った科目を開講し、受講人数を増やす。 2023年度に講座数750、受講者20人をめざす。	560講座 3人	内容の検討 707講座 4人	実施	720講座 6人	730講座 10人	740講座 15人	検証・改善 750講座 20人
	FD・SD活動	FD・SD活動を共同開催する。2023年度に共同開催5回、受講者140人をめざす。	個別開催合計 43回 1,588人	内容の検討	実施 2回50人	3回 80人	4回 110人	検証・改善 5回 140人	
	リスクマネジメントへの取組	リスクマネジメントへの取組みを検討する。 2020年度以降、研究会・協議会等の開催2回をめざす。	個別開催合計 6回	内容の検討	実施 2回	2回	2回	検証・改善 2回	
	国際交流	国際交流活動を共同開催する。 2023年度に共同開催3回、参加者70人をめざす。	個別開催合計 25回 1,810人	内容の検討	実施 1回20人	1回 30人	1回 40人	検証・改善 2回 70人	
	その他の広報活動	・「大学コンソーシアム香川」や大学等のホームページ、メディア等を活用して広報活動を積極的に行う。 ・オープンキャンパスの共同広告を年1回掲載する。 ・パンフレットスタンド設置を推進する。 ・「大学コンソーシアム香川キャンパスガイド」を作成する。 ・「大学コンソーシアム香川」のホームページをリニューアルし内容を充実する。 ・広報活動を通じて、県内大学等への進学増加や若者の県内定着に繋げる。	共同広告 1回 自県大学進学者の割合 17.5% 県内大学卒業生の県内就職率 42.3%	実施・推進 キャンパスガイド発刊	自県大学進学者の割合 目標 21% 県内大学卒業生の県内就職率 目標52%	自県大学進学者の割合 目標 21% 県内大学卒業生の県内就職率 目標52%	自県大学進学者の割合 目標 21% 県内大学卒業生の県内就職率 目標52%	検証・改善 自県大学進学者の割合 目標 21% 県内大学卒業生の県内就職率 目標52%	

2023年度事業計画（年度単位のロードマップ）

参考

1. 次期中長期計画

策定に向けて、3部会合同連絡会を中心に各部会やワーキンググループで検討する。

2. 個別の取組

(1) 高大連携事業・進学促進事業（実施組織：進学・教育部会）

地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着を目的として、県内高等学校を始め初等中等教育機関と連携した事業を行うとともに、県内大学等の情報の提供・広報に関する事業を行う。

部会	取組内容	達成目標・指標	2023年									2024年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
進学・教育部会	出前講座・体験講座等への講師派遣	①出前講座 高校生等を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かした出前講座・体験講座の提供を拡充・強化する。 ・目標150件	準備		実施							実施結果 分析・評価・報告		
		②香川わくわく子ども大学 小学生等を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かした出前講座・体験講座の提供を拡充・強化する。 ・目標10講座開講	準備・募集		実施					実施結果 分析・評価・報告				
	探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣	県内高校の要請により、「総合的な探究の時間」に大学等から講師を派遣して指導・助言を行う。 ・目標1校	実施									募集・決定 実施結果 分析・評価・報告		
	県内大学等合同進学説明会	共同で高校に出向いて進学説明会を実施する。 ・当該高校を卒業した在学生や、県内企業に就職した卒業生も活用して説明会を実施する。 ・目標6校	募集・決定		実施					実施結果 分析・評価・報告 募集				
	合同大学説明会・交流会	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会・交流会の実施に向けて検討する。	ニーズ調査・検討								試行 実施結果・分析・評価・報告			
	高大連携キャリアデザイン研修	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修（大学等訪問受入）、広報誌やホームページへの寄稿などを行う。 ・大学等合同説明会 目標1回（12月9日）を実施する。 ・「高P連だより」への大学等記事掲載 目標2回（10月、3月発行）	検討・準備							実施	実施	実施結果 分析・評価・報告		
	広報活動	ホームページ、メディア等を活用して広報活動を積極的に行う。 広報活動を通じて、県内大学等への進学増加や若者の県内定着に繋げる。 ①オープンキャンパスの共同広告 ・日程等の公表1回 ・プラットフォーム構成校の相互広報 ②ホームページの活用 ・目標年間50件以上掲載 ③高校設置のパンフレットスタンドを活用 ・目標年3回資料補充	実施										実施結果 分析・評価・報告	

部会	取組内容	達成目標・指標	2023年										2024年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
進学・教育部会	広報活動	④デジタルキャンパスガイドの作成・公開 ・大学ガイドをデジタル対応に刷新し、ホームページで公開する。 ・目標1回													
				作成・準備					公開・周知					実施結果 分析・評価・報告	

(2) 大学等連携強化事業

地域社会・地域経済を支える人材の育成・定着を目的として、県内大学等が連携して教育の向上及び研究の促進に努めるなど魅力向上に資する事業を行う。

部会	取組内容	達成目標・指標	2023年										2024年					
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
進学・教育部会	単位互換	県内大学生等に多様かつ柔軟な学修の機会を提供する。 ・目標講座数730講座、履修学生数10人 ・オンデマンドやeラーニング等のコンテンツを持つ大学等が単位互換科目を設定すること、地域志向科目などを増やすことを検討する。	実施										実施結果 分析・評価・報告 科目調査・履修案内					
	FD・SD活動	・高等教育の中長期グランドデザイン、リスクマネジメント、数理・データサイエンス・AI教育等を研修内容とする。 ・目標3回、80人参加	検討・準備										実施			実施結果 分析・評価・報告		
	国際交流	・各大学等の外国人学生間の交流の機会を設け交流を促進する。 ・目標2回 70人参加	検討・準備										実施			実施結果 分析・評価・報告		
	リスクマネジメントへの取組	自然災害や人為災害等に対する大学等のリスクマネジメント体制を構築する。 ・目標2回	検討・準備・決定										実施			実施結果 分析・評価・報告		
	地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	長期的な高等教育の展望、教育の質の保証等について議論し、大学等の地域における教育改革や教育改善を図る。 ・外部講師招聘による研修会 1回	検討・準備										実施			実施結果 分析・評価・報告		
	数理・データサイエンス・AI教育事業	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できるよう教育体制の構築・普及を行う。同時に、この分野を牽引できる国際競争力のある人材および産学で活躍できるトップクラスのエキスパート人材を育成する。 ・研修会1回 他県研修会の随時案内	実施													実施結果 分析・評価・報告		

(3) 地域内就職の推進に向けたキャリア支援

県内大学等および各経済団体は県内就職の推進を行っており、これまでの内容を点検・検証し、継続・改善に止まらず、新たなキャリア支援策にチャレンジして県内学生の県内就職と定着の拡大を目指す。

部会	取組内容	達成目標・指標	2023年										2024年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
就職・産業振興部会	業種別オンライン県内企業見学ツアー	・香川県内企業による動画等を使った業種別の企業説明会を開催する。 ・目標3回	準備・案内					実施				実施結果 分析・評価・報告			
	うどん県の自治体で働こう大懇談会	・香川県内の自治体等の担当者やOB／OGが一堂に集まる大懇談会を開催する。 (共催事業) ・目標1回						準備・案内		実施		実施結果 分析・評価・報告			
	キャリア支援研修会	・就職活動の始め方や企業研究の方法等について説明する研修会を、就職年でない学生を対象に開催する。 ・目標1回			準備・案内					実施		実施結果 分析・評価・報告			
	かがわーくフェア	・合同企業説明会に向けて、各機関が連携して参加学生の増員と新たな魅力づくりを行う。 ・目標3回	実施							検討・準備		実施結果 分析・ 評価・報告 実施			

大学・地域共創プラットフォーム香川 中長期計画（2019～2023 年度）の修正に伴う補足説明書

1 評価体制（2023 年度）

- | | |
|-------------|---|
| (1) 評価時期 | 年度毎に評価を行うものとする。 |
| (2) 評価体制 | 関係部会において作成した評価については、3部会の部会長が3部会合同連絡会において確認を行うものとする。 |
| (3) 評価の反映方法 | 評価については、大学・地域共創プラットフォーム香川のホームページで公表を行うこととする。また、評価について関係部会で共有して、次年度以降の事業の改善を行うものとする。 |

2 運営スケジュール（2023 年度）

[illegible]